

# 御腹様

ごふくさま

By

倉さん

十三年前

御腹様準備は  
宜しいですか？

はい...



はいお願いします

では、参ります！

はあ

はあ



神前奉奠壺ノ太刀

はあ はあ

ズ

ズ

あ



ザクザク

ズキ

ズキ





御腹様・・・御腹様！  
喪神なさってしまったか



慈悲にてこの有り様で  
神前奉奠式ノ太刀仕れば  
御身も楽であらせよう。



御腹様  
御腹様  
御腹様

花姉ちゃん……



御腹様……

御腹様……

御腹様……



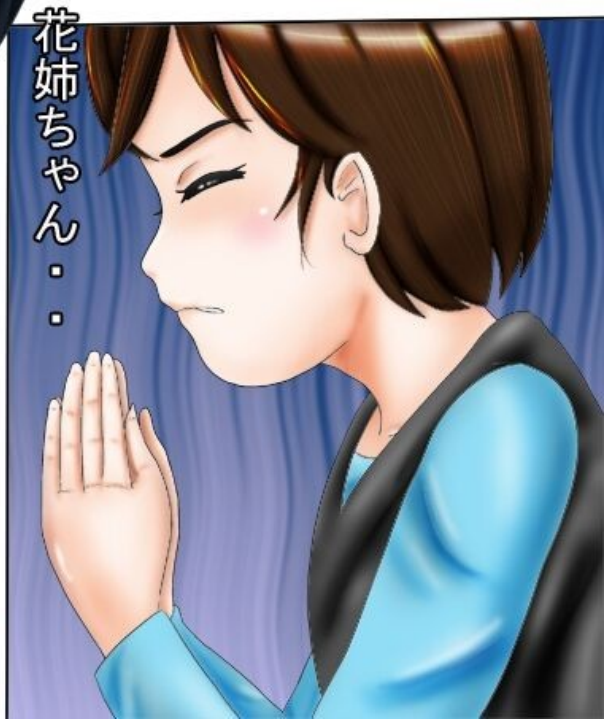
神前奉奠式ノ太刀仕る!



はあ

はあ

おんうのて  
御右ノ腕奉り候ふ!

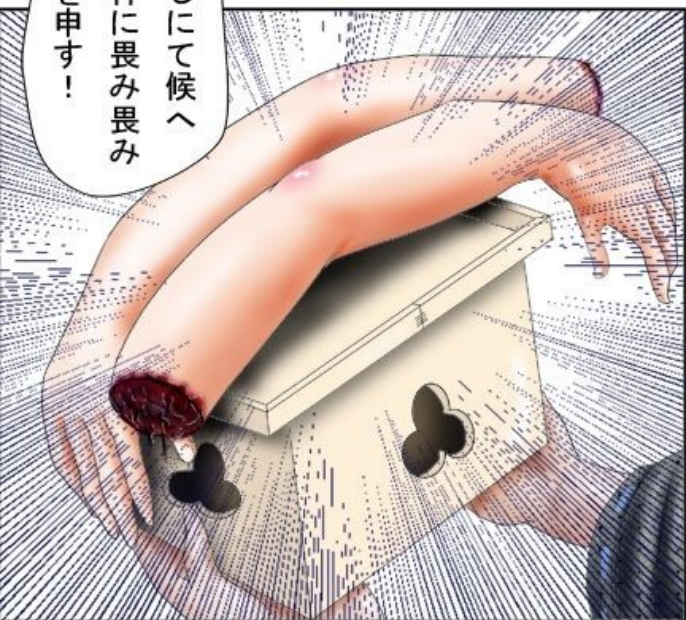


花姉ちゃん……

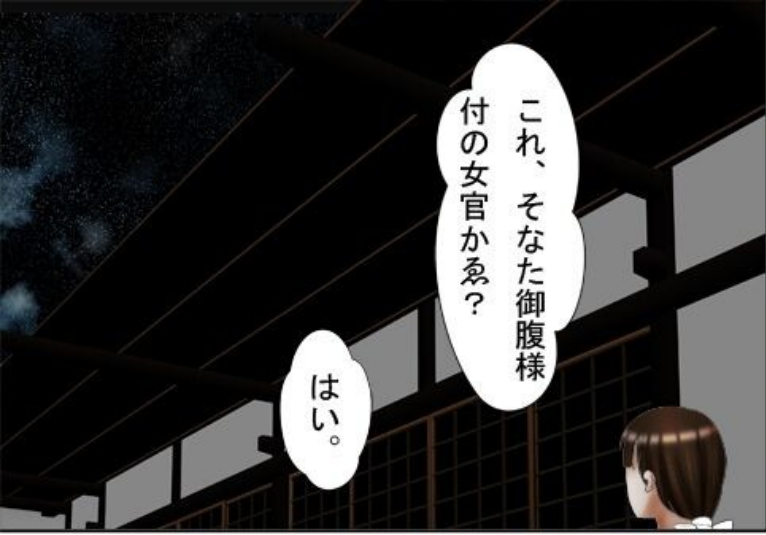


ビクッ

両の御碗揃いしにて候へば御守護龍ノ神に畏み畏み此れに捧げ奉を申す!



これにて御腹様お隠れ申す、これより式拾九日後神前奉奠ノ儀にて両御御足奉納の儀参ノ太刀執り行う事守護の神へ畏み畏み申す。



はい。

これ、そなた御腹様付の女官かゑ?



三日後深夜



んん・



御腹様の容態はどうじや?

只今お薬湯をお飲みになりお熱も下がりました。

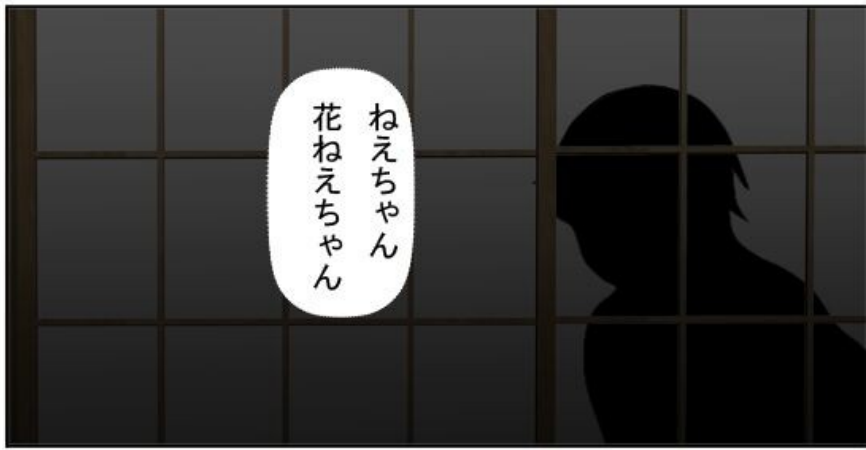
それは重畳。



そこに誰かおるのか?

おいらだよ! タケルだよ!

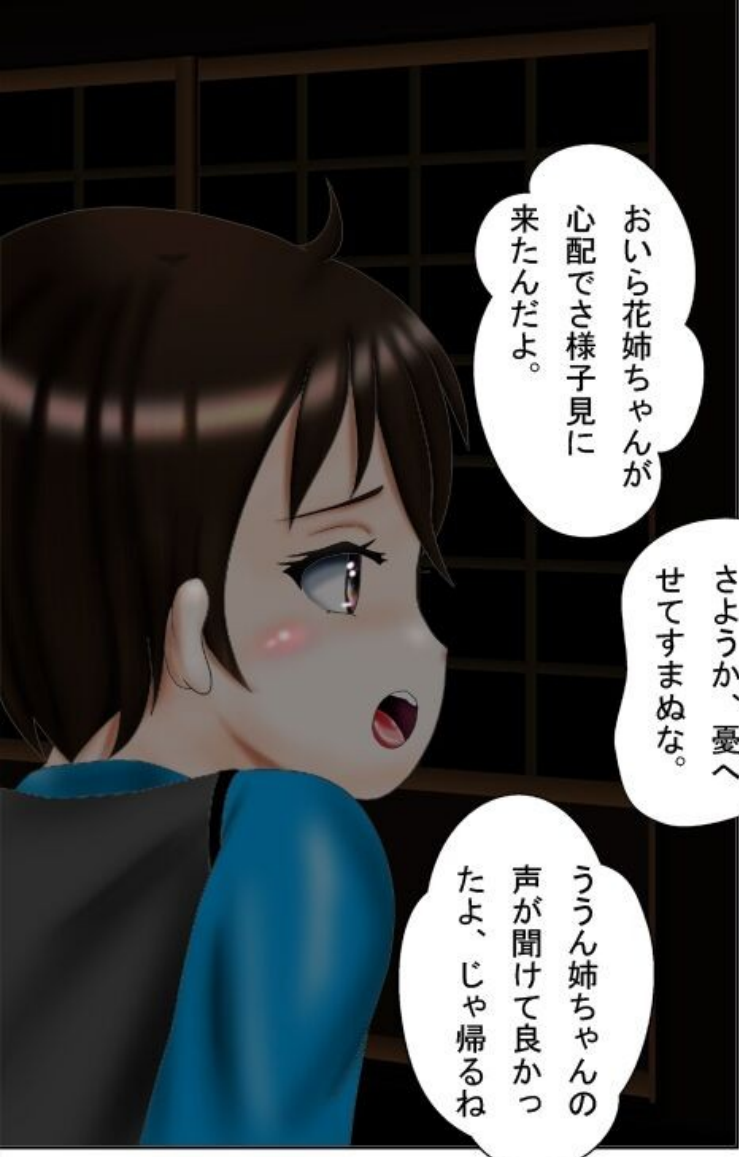
おおタケルかどうした?



ねえちゃん  
花ねえちゃん



んん・・?



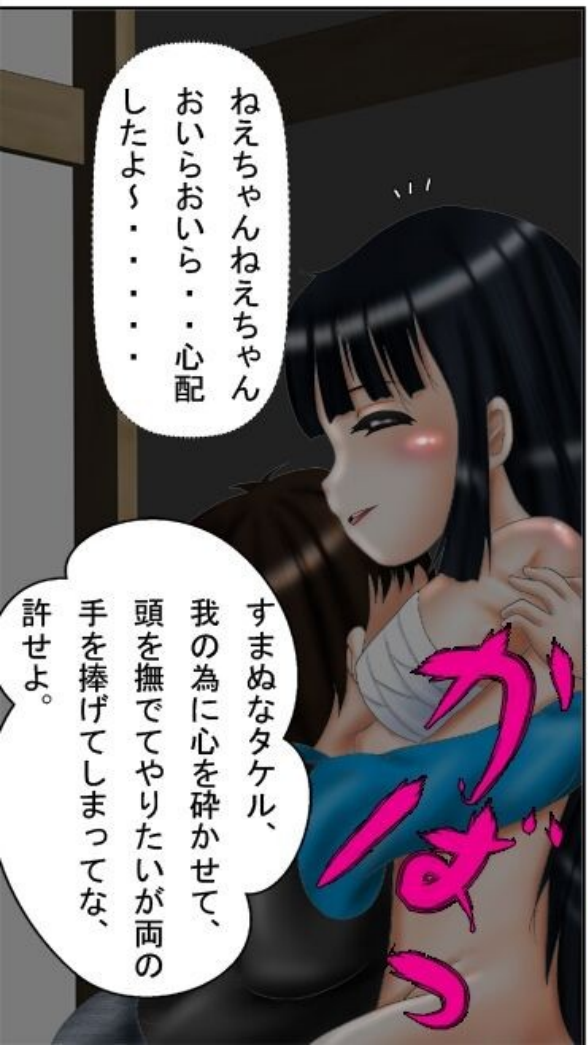
おいら花姉ちゃんが  
心配でさ様子見に  
来たんだよ。

さようか、憂へ  
せてすまぬな。

ううん姉ちゃんの  
声が聞いて良かつ  
たよ、じゃ帰るね



して、タケルよ  
このような夜半に  
何用じゃ？



ねえちゃんねえちゃん  
おいらおいら・・・心配  
したよ・・・

すまぬなタケル、  
私の為に心を砕かせて、  
頭を撫でてやりたいが両の  
手を捧げてしまつてな、  
許せよ。



ううんねえちゃん  
入るよ・・・



おお、おおタケル  
近こう近こう！



まちやれ、折角来たのだタケル  
そなたの顔を拝ませておくれ。

付きの女官に悟られぬよう  
そろりと僣んで参れよ。



うう・・また腕の傷が・・減痛丹の効能が切れたかの？

!



うっ痛っ

ねえちゃんねえちゃん

ねえちゃん  
どうしたの？  
腕痛いの？



おおそうじゃそうじゃ、あの折我にした事をまたやってくりやれ傷が疼くで気を逸らしたいのじゃ、やってくれるかえ？

うん、分かった！



ああタケル少し傷が疼くでな・心砕かずとも良い



うっうん  
えっと、花姉ちゃんとした・事？

のうタケルや、お主最後におうたあの河原での事覚えておるかえ？



んん・もそつと  
強うねぶって・

ううん



んんんん  
んんんん

花姉ちゃん花姉ちゃん・



はあ

はあ

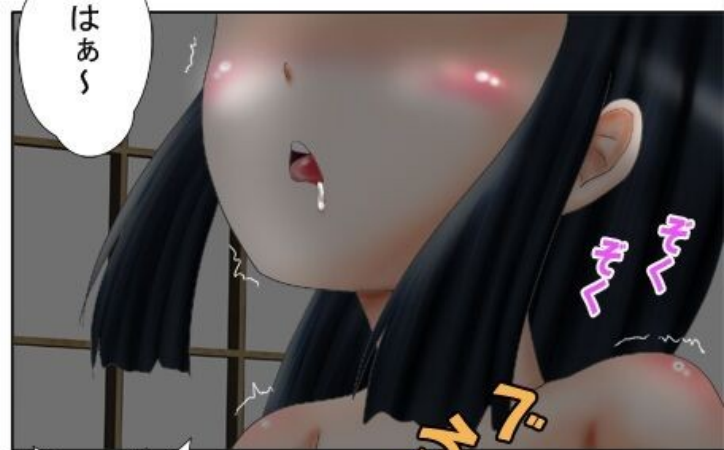
あああああータケル  
タケルタケル！

ガッ  
ガッ



んはあ

んんんん



ああ・こはき  
波がっま・いる・

んんんん





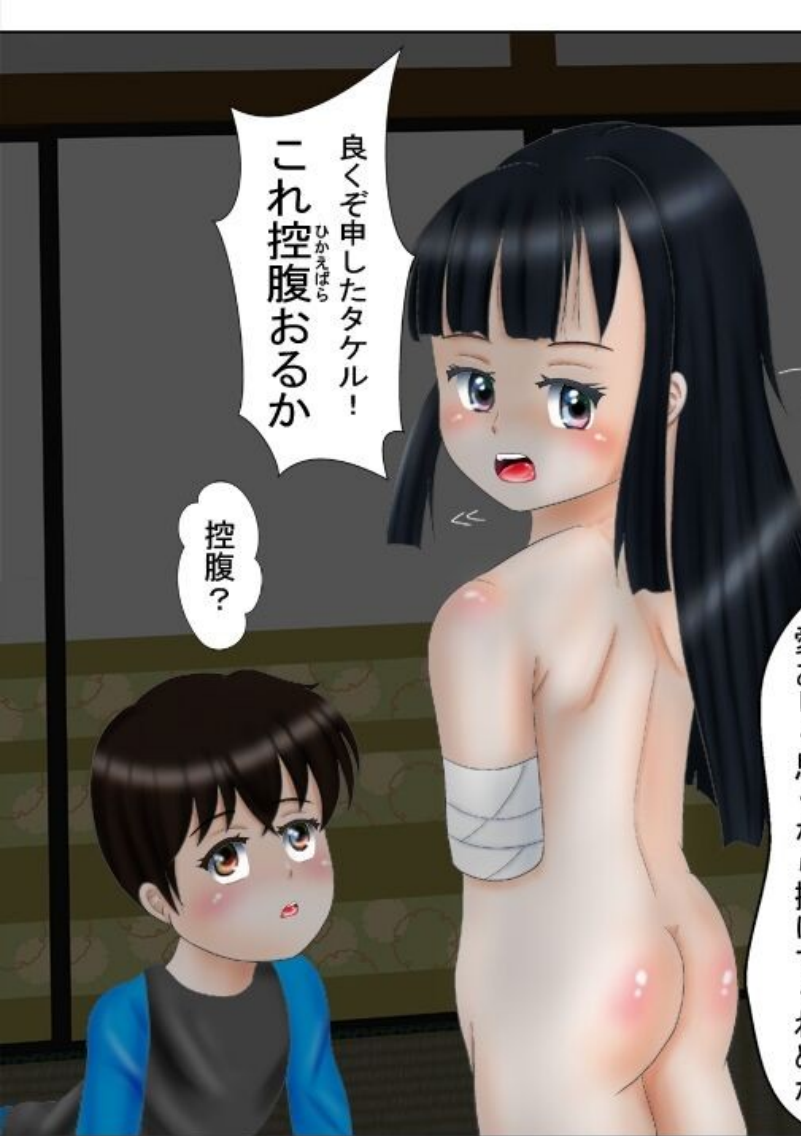
はあはあ深く気をやって  
しまったわ・タケル良い子  
じゃの、のうタケルや我と共に  
次代の御腹を作る気はない  
かえ？



あぁあぁ

ひちひち  
さささ

す



良くぞ申したタケル！  
これ控腹おるか

控腹？



次代の御腹様？  
花姉ちゃん？

っ

あっ



そうじゃとも、我が身は両の脚を  
収めた後里の氏子によって次代の  
御腹を孕む身なれど、我はそなたと  
の縁を尊く思うでな、どうじゃ？我を  
愛おしく思うなら捧げてくれぬか



うんオイラ花姉  
ちゃんの為なら  
何でもするよ

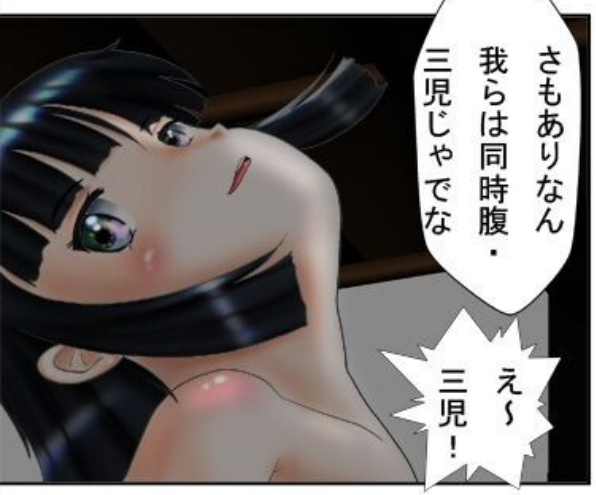


御腹様控腹御付腹  
これに控えており  
ますればなんなり  
とお申し付けを



おお参ったか

あれ？二人共花姉  
ちゃんに凄く似てるね。



さもありません  
我らは同時腹・  
三児じゃでな

ええ  
三児！



おやこの愛ら  
しき男子おのこは何方  
ですの？

まだ童子じやの  
御腹様の相識そうしきな  
る者か？



失礼いたします  
御腹様・・・

控腹・御付腹  
お召でございま  
しょうや。

儂はお付き腹じや御腹様  
のお世話を旨としておる、  
主に四肢を捧げた後御腹様  
の手足となる者じや。主の  
名は何と言つのかの？

おいらタケル  
平タケル

これこれ、タケルは  
我と子を成す男子おのこじやて  
主らにはやらぬぞ。

わっぷ

タケルの身も  
引き継いでも良いぞ  
どうじや？

おおわっっぱタケルと  
申すか！我は控腹だ良しな  
にな！御腹様がお命を落とさ  
れるような事があらば我が  
お役目を引き継ぐのだが

お待ちください御腹様

それは成りませぬ、御御足を  
捧げた後に里の氏子衆の子種にて  
贅腹を召される仕来りにて、以前  
に、しかも血筋不明の者との  
交わりは許されませぬ！

では付腹、我に顔も  
知らぬ男集の贅を宿せと  
そう申すのか！嫌じゃ！

では有りませうが、どうか  
お聞き届け下さいませ。八百年に  
渡る御腹の門地途絶えさせ龍ノ  
大神様との約定破るは大罪！  
里の衆に神罰が下りませぬぞ。

ええい其の様な事言わず  
とも心得ておるわ！じゃがタケル  
が我門地なれば良いのであろう？

さりとして贅腹の義は  
執り行わねばなりま  
せぬぞ御腹様！

タケルと贅腹成した後  
なれば有象無象にこの身  
如何様に委ねても悔いは  
ないわ！

のうタケル一っ  
訪ねて良いかの？

うん何？  
花姉ちゃん



お前の氏は平じゃったの、  
氏子の家系に最も多い名じゃ  
親類縁者で我が御腹の門地に  
縁ゆかり或者はあるものおらぬか？

んん・・もんち？



御腹の祭祀に何か  
しら関わっている  
一族の者じゃ。

たしか源蔵じいちゃんが  
にえばらのぎ？とかで種  
まいたって自慢してたよ

何と！平源蔵か？童子！  
あ奴の孫であるか？老骨  
ながら良き男子おのこであったぞ



おのこは源蔵の孫か？  
おのこは源蔵の孫か？  
おのこは源蔵の孫か？  
おのこは源蔵の孫か？





これは垂乳根様  
御身を煩わせし  
我らの愚行何卒  
お許しください  
ませ。



何故おわすもないものじゃ、これ程もて  
騒げば夜の帳も開けようと言うものよ女官  
共が騒ぎ参らせたる故妾が見に参った



たらちねさま？  
って何の事花姉  
ちゃん？

それはの・・我等を  
産みし先の御腹様  
じゃ。

お母さん  
ってこと？



えっと・・・・

主が源蔵の孫かえ？面影がある  
わい、しかし主よ御腹の蜜は甘露  
のように甘いかへ？その様に吸い付  
いて離さぬとは余程の美味なので  
あるうな。くすくすくす



おやおやこれは・・

ぬい〜

くすくす

タケルよ主は誠に御腹と子をなさんと欲するかや？

うんおいら花姉ちゃんと子供作りたい

やれやれまだ童子の如き躯体じゃが主は歳は如何程じゃ？

今年で十一

なれば、子種も出るか分からぬ故付腹、控腹！タケルのふぐり種有るや試してござれ！

垂乳根様・

かしこまりましたささタケル殿お立ち下さいませ。

わーわーなっなにすのの

おやおやワツパには似つかわしくない物じゃのう、ケラケラ

ぶるん 脱ぎ

あっうん

ぐいっ



わっ!

パツ!

ドキ  
ドキ

ゴクリ

おおくタケルの  
男柱は真つこと硬  
きものよのう...

痛っ!



これこれ戯れは  
其れ程にせい!

付腹、主タケルの  
男柱口に含んで  
子種あるやさぐつ  
てみよ!

私めでござりますか?

あい、承知仕ります

おのこ  
男子の身体主は  
よう知っておろう



あの〜

ふるふる  
ドンドン

元気ありて良いの



あゝん

あゝん  
あゝん



ではタケルの  
子種の有無試し  
まする・・・

あゝん  
あゝん



けほけほっ・・・  
喉奥にけほっけほっ

垂乳根様タケル  
の精・けほっけほっ・・・  
しかと受けまして御座  
います・・・けほっ



どびゅびゅ



あつあつちんちん  
気持ち良いよ  
おねえちゃん・・・

あ

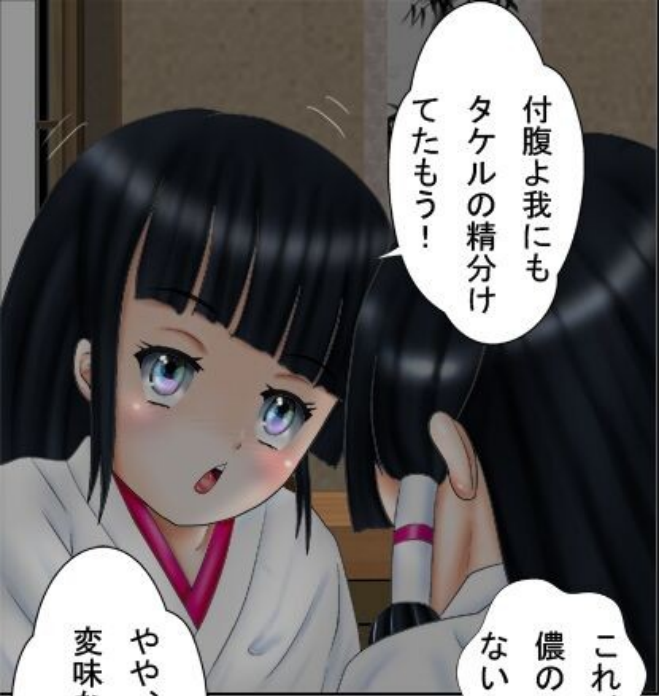
あゝん  
あゝん



あああ何か出そう  
出る出ちゃうよー!!

うっ

あゝん  
あゝん



付腹よ我にも  
タケルの精分け  
てたもう!

やや、これは  
変味なるが旨し

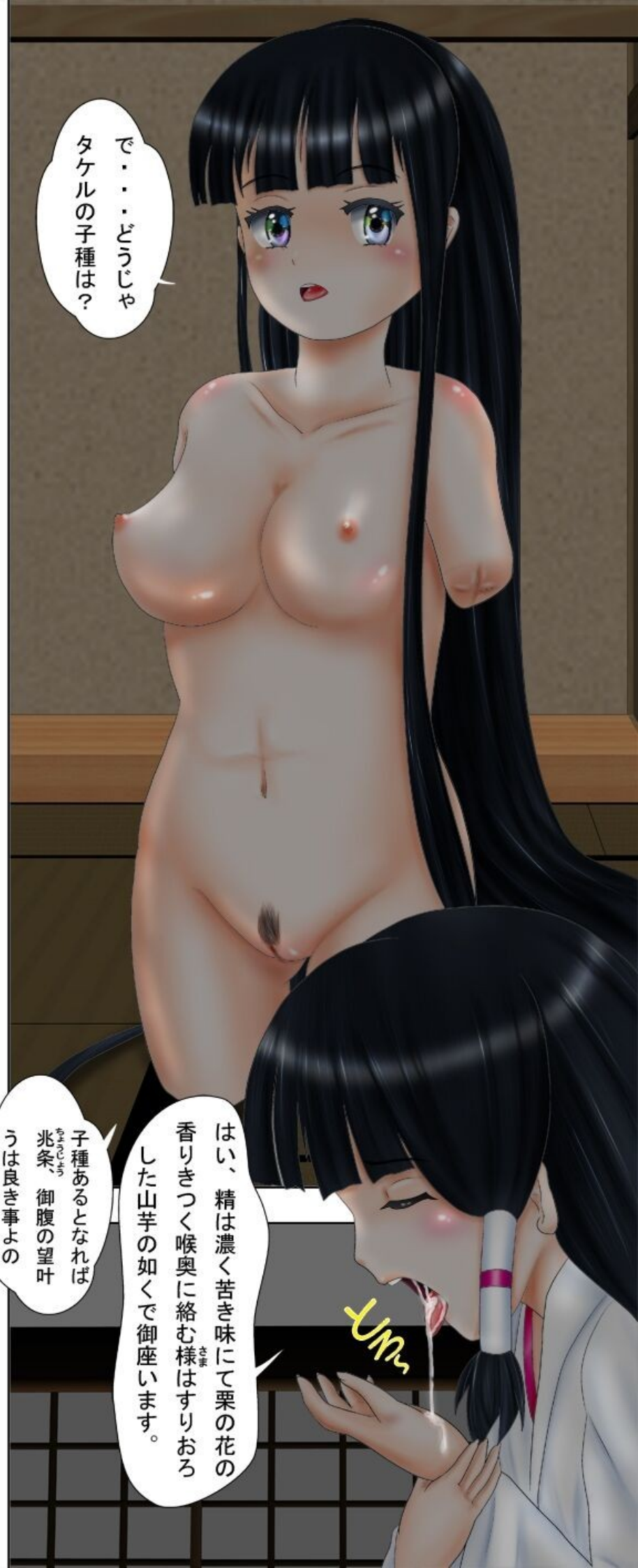
これ、控腹・  
濃の口吸うで  
ない……



これ吸うな  
と・んん・  
んんん・♡



己ら!それは  
我のものであるぞ!



で……どうじゃ  
タケルの子種は?

子種あるとなれば  
兆条、御腹の望叶  
うは良き事よの

はい、精は濃く苦き味にて栗の花の  
香りきつく喉奥に絡む様はすりおろ  
した山芋の如くで御座います。





ごゆるりとお飲み  
くだされまし。

コク  
コク



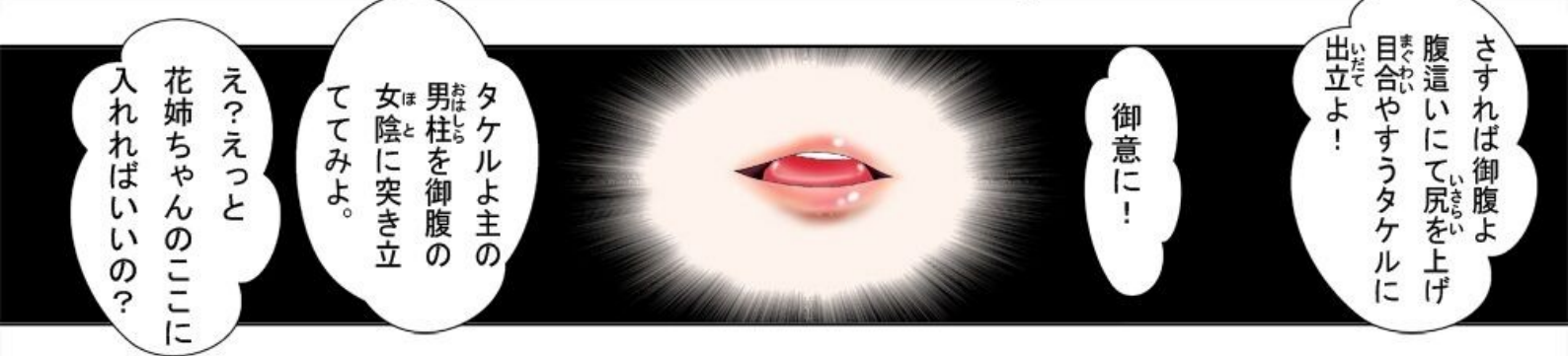
うむ。

御腹様 獣腹丹の  
薬湯で御座います



これこれ戯れも  
そのくらいにして  
御腹に薬湯を、

申し訳ござい  
ませぬ 垂乳根様  
急ぎ整えます



さすれば御腹よ  
腹這いにて尻を上げ  
目合やすうタケルに  
出立よ！

御意に！

タケルよ主の  
男柱を御腹の  
女陰に突き立  
ててみよ。

え？えっと  
花姉ちゃんのこころ  
入れればいいの？



か〜っ

うむ。

精解き放つは  
女陰の奥深き所  
にて行えよ

さすれば薬湯の  
効能もあつて複腹  
孕むであろう

うっうん分かった！

尻上げて女陰を  
男子の前に晒すは  
思いもかけぬ程胸  
つぶる思いよな



凄くきつくて入らないよ  
力入れるけど大丈夫？

ぎぢ  
ぢぢ

うむタケルよ  
よしなに頼むぞ！



しゅっ

じゃ・じゃあ・・・  
入れるね花姉ちゃん



うっ

だっ大丈夫・・・  
そのまま深こう  
突いてたもう



うっうんじゃ動くよ。

くうう案ずるでない破瓜の  
痛みなど四肢奉納の義に比ぶ  
れば何とには無しじゃ！



ぶちっ！

あつ血ない？  
痛くない？





花姉ちゃん  
花姉ちゃん

あ

あ

あ



あっあっ  
良いぞ・タケル・

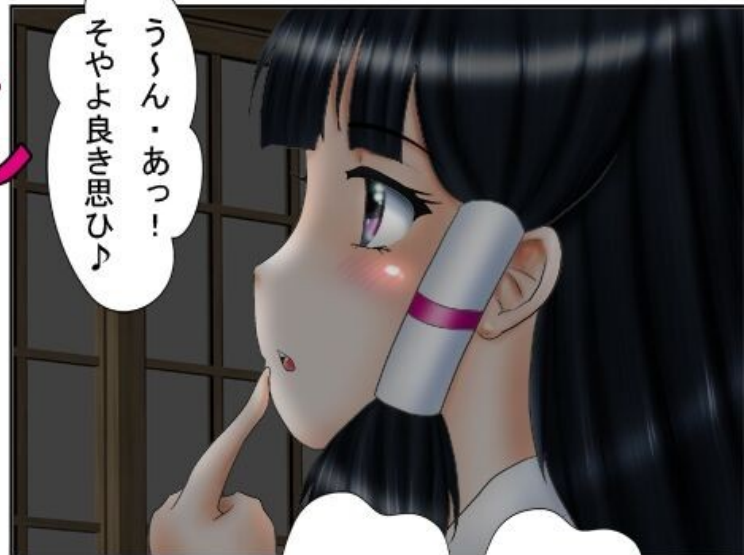


うおおおお何？

きゅんきゅん



あ～ん



うん・あっ！  
そやよ良き思ひ♪



あん

あっ

あん

あああだめだよ  
そんなところ…

どうじゃタケル  
心地よいであろう  
尻の穴を鷺られ  
るはぞぞろさ  
むしかろう？  
そのまま精を吐  
き出すが良いぞ



気持ちいいよ・  
花姉ちゃん

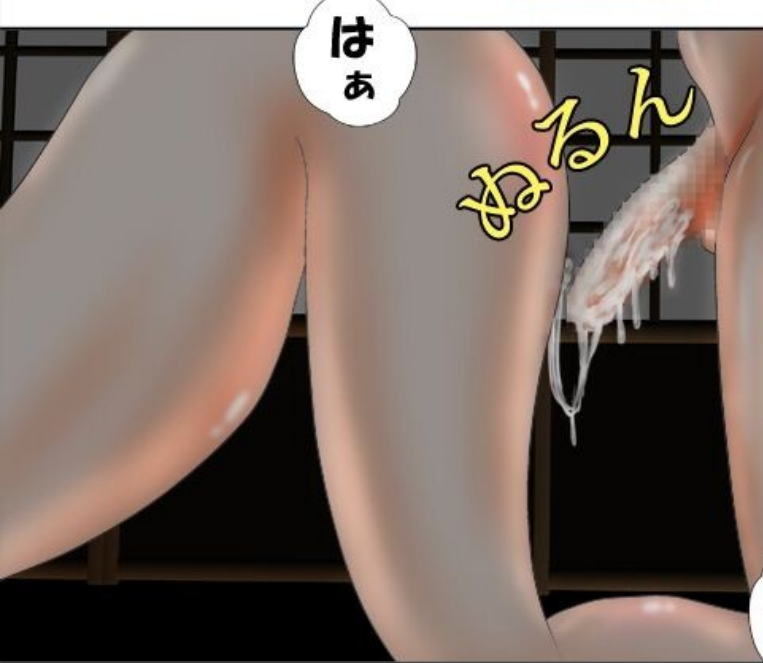
ぶるん



ぬるぬる

びゅるるる

ず



はあ

ぬるん



はあ

ず

はあ



びゅるるる



はあ

御腹様どんな  
感じじゃ？心地  
よいか？

うむ・はあ  
えも言われぬ  
心地じゃ・

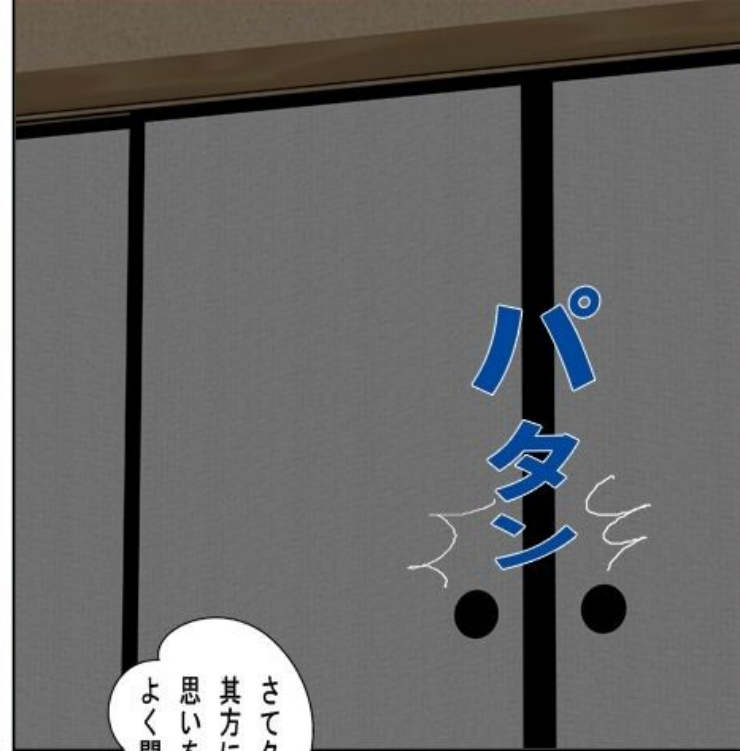
あつタケルの精が  
垂れ落ちる・





ぶづーっ

ドサッ



パタン

さてタケルよ  
其方にはちと辛き  
思いをさせるが  
よく聞くがよい



主と御腹は好きおうておる  
ようじゃが、主と御腹があり  
つるようにまぐわえるは贅腹  
の義までじゃ、その後は御腹  
とまぐわるは禁忌にてこれを  
許す訳にはいかぬ



はっはい!

ヒツツ!



御腹がまぐわう  
さきに飲む薬湯は  
複腹なすもので

必ずや二つを  
超える赤子を  
宿す力がある

故に次代の御腹  
と控腹が必ず生まれ  
いでる事叶う

そして・



剩<sup>ま</sup>えろくに会うことも儘<sup>ま</sup>な  
らぬゆえ心に思う他は夢幻<sup>ゆめまろ</sup>  
と心得よ、それにの、贅腹<sup>こえぼ</sup>  
の義までに子を成さねば縁も  
永久<sup>とわ</sup>に消えようぞ、いずれに  
せよ贅腹<sup>こえぼ</sup>孕みし時は男子<sup>おのこ</sup>と  
のゆかりは禁忌であるから  
心得ておくがよい

出生の義にて氏子祈る中次代の御腹と  
控腹産み落とした御腹は垂乳根となり  
後拾参年間公には姿を現さず世捨ての  
如く宮から出ること又宮外の者と会う  
事は禁じられる。



故にタケルお主が御腹と共に過ごすは  
これより一年ほど、俗世の夫婦めおとの様  
はいかぬし会うことすら叶わぬぞ。

だがひとつだけ例外がある、それは  
タケル、主がこの宮の神官として  
神宮殿に使えることじゃ、さすれば  
永久とわとはいかぬが後拾参年は共に  
暮らすことは叶う、じゃが垂乳根は  
子を宿すことは禁忌に触れる故  
身体を合わせる事は出来ぬしお主に  
とつて過酷な定めが待っておるぞ。

その運命さだめ受け入れて  
神官となるか？





その言や良し  
頼むぞタケル



オイラ神官になって  
姉ちゃんの側に居たい!



あの者の子種で孕んだと心得ておる。  
実に凛々しい男子おのこであった、主はあ奴  
の血筋じゃ、御腹を委ねるゆえ頼むぞ!



さすが源蔵の孫よな、漢ではないか  
源蔵は贅腹の義にて妾を抱いた数百の  
男集の中で唯一妾が気をやった者でな



うっうん・・そうか花姉ちゃん  
オイラの叔母さんになるのか・

では、タケルよ  
もう隣に移って  
良いぞ



まあ其方にとっては、御腹は  
父の兄妹に当たるであろうから、  
かくわずらわしか知れぬが、  
漢をみせよ！たのむぞ！



ほうはへる  
もろふあか。



花姉ちゃん達がまさか  
爺っちゃんの子供なんて

オイラ父ちゃんの兄妹  
とあんな事したんだ・・

でも花姉ちゃん  
のこと好きだし



え？ねえちゃん達  
何やってるの？

ああっ

付腹よ心地よいのか？

？

すー



花姉ちゃん・・・  
おいら・・・

なんじゃタケル我の  
事を案じてくれるのか  
愛い奴じゃ嬉しいぞ



え？花姉ちゃん  
死んじやうかも  
知れないの？

そう言う事も  
あると言う事じゃ



そうだ、おいら頑張って  
花姉ちゃんと子供作って  
奉納の儀で足切られても  
死なないようにするんだ  
花姉ちゃんの為に！



花姉ちゃん  
それ本当？

まことじゃ、母御の  
身は堅朗になると言う  
ではないか・・・。

案ずるな、タケル。我は黄泉に渡る  
は叶わぬでな、そも主の子種を貰うて  
子宿せばこの身も強うなるよってに



我は女人であるぞ  
疑ごうならしかと  
見やれ。

女人でなければ  
控腹は務まらぬ  
でな・・



ん？なんじゃ？



はつまさか控の  
ねーちゃんも！



私の女陰と子袋は、御腹様に  
万が一の事あらば御身の代わ  
りにて次代の御腹様を孕む身  
なれば、男であるはずもない

万が一って？



ほれ、見いや！  
天晴なる女陰で  
あろう！

あついやそんな  
見せなくても・  
ごめんなさい

また起つちやうから・・

主も知っておろう、  
御腹様はその四肢を  
龍神に捧げ奉るため  
奉納の儀にてその身  
より切り離され傷口  
を焼かれるのじゃ故  
に亡くなる事も珍し  
くはないゆえ我が控  
えておるのじゃ。

ぱさり

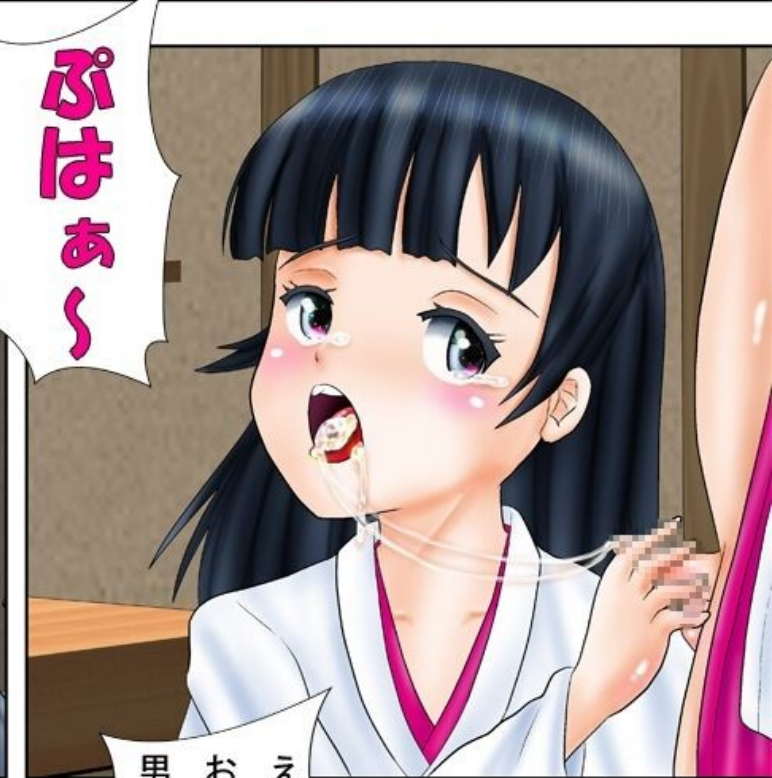


駄目じゃ控へ僕はもうもう  
.....んんんん.....



すまぬ控腹よ  
そちの舌が心地  
良すぎての...

付腹よ出しすぎじゃ  
飲み干せぬでは無いか



え〜付腹の  
おねえちゃん  
男だったの！



ええ？付腹の  
ねっ兄ちゃんは  
オイラの叔父さん  
まてまて、オイラ  
叔母の花姉ちゃん  
としながら叔父  
さんにちんちんや  
お尻の穴舐めら  
れたの...か...



ん？左様じゃが  
おのこ  
男子ではいかぬか？

はあ

はあ

はあ

はあ

そしておいらは二日おきに花姉  
ちゃんの身体を強くするために  
頑張つて子供を作る行為を続け  
何度も何度も花姉ちゃんの中に  
子種を注ぎ込んだ。

あああ

パンパン

ずっちよ  
ずっちよ

うう・・・  
出るよまた出るよ  
花姉ちゃん！

来ておる来ておるぞ  
タケルの精が我の奥深い  
宮に暖かく滲んでおる

びゅるるる  
びゅるるる

ぬぽっ

どろ～

そして・・・  
お御脚奉納の儀の前日





うむ「苦勞」...



御腹様青試砂しやうしざ  
お持ちしました

花姉ちゃん  
青試砂って何？



さてさて孕んで  
おるであろうか

南無三宝願わくば  
我に複腹賜らん事を  
切に祈るぞ！



この砂に小用すると、赤子を  
身籠れば黄金色こがねに、複腹・双子  
以上であれば紅に染まる砂じゃ





がぼっ

ようやったタケル  
でかしたぞ!

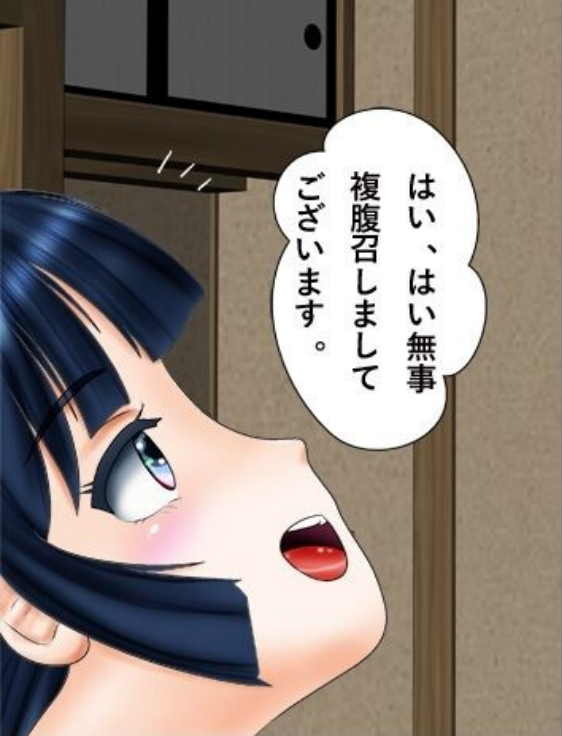


わわねーちゃん  
オシッコとめて!



ぴちゃ  
ぴちゃ

おお紅じゃ  
紅に染まったぞ



はい、はい無事  
複腹召しまして  
ございます。



あっ垂乳根様

御腹塩梅  
はどうじゃ？



花姉ちゃん  
死なないでね  
死なないでね！



それは重畳  
だが明日の奉納の義  
無事命あるが要ぞ

はい！肝に銘じて



案ずるなタケル  
主をおいて黄泉路  
へは渡らんよ

# 翌日奉納の儀

御腹様奉納の  
義にてこれ  
よりお出まし  
いたすー!

ざわ  
ざわ  
ざわ  
ざわ

御方生まれ落ちたる姿にて、守護の  
神龍神様に御おみ脚捧げ奉る。



すっ





おお  
お美しいや

御腹様

御腹様

ざわ  
ざわ

ざわ  
ざわ



.....

しゅる  
しゅる



花姉ちゃん  
死なないでね!



御支度整いまして御座ります



これより

御腹様御おみ脚奉納の  
義氏子集立ち合いの元  
執り行い仕る!



んだな...

おお美しいおみ脚じゃ  
龍神様も満足されよう



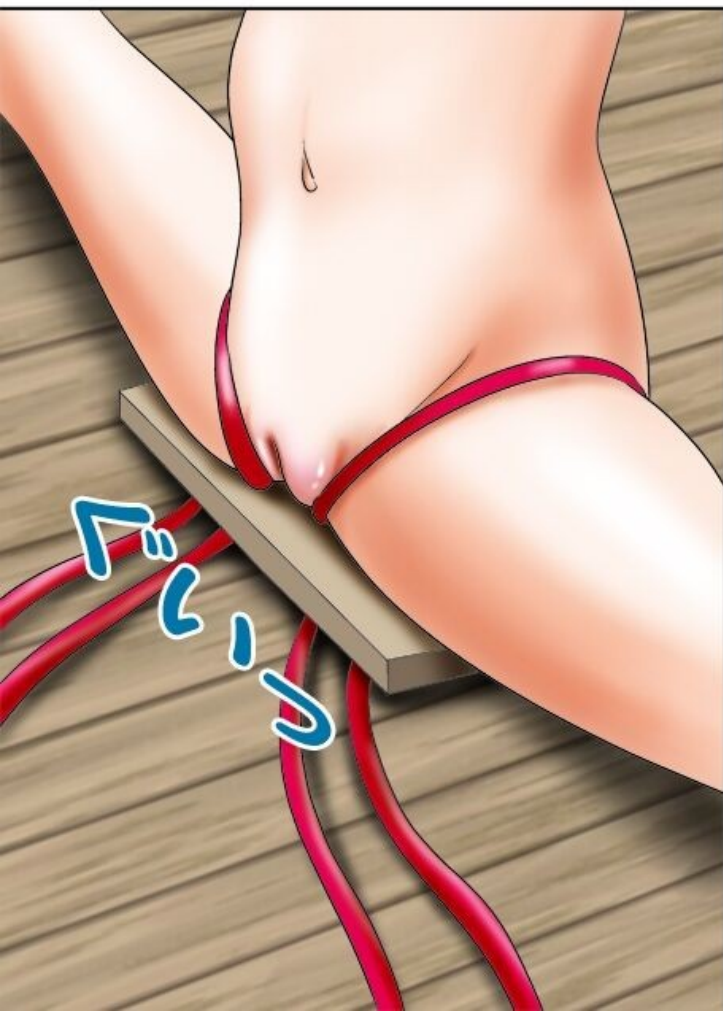
これでよいか

結構でございます

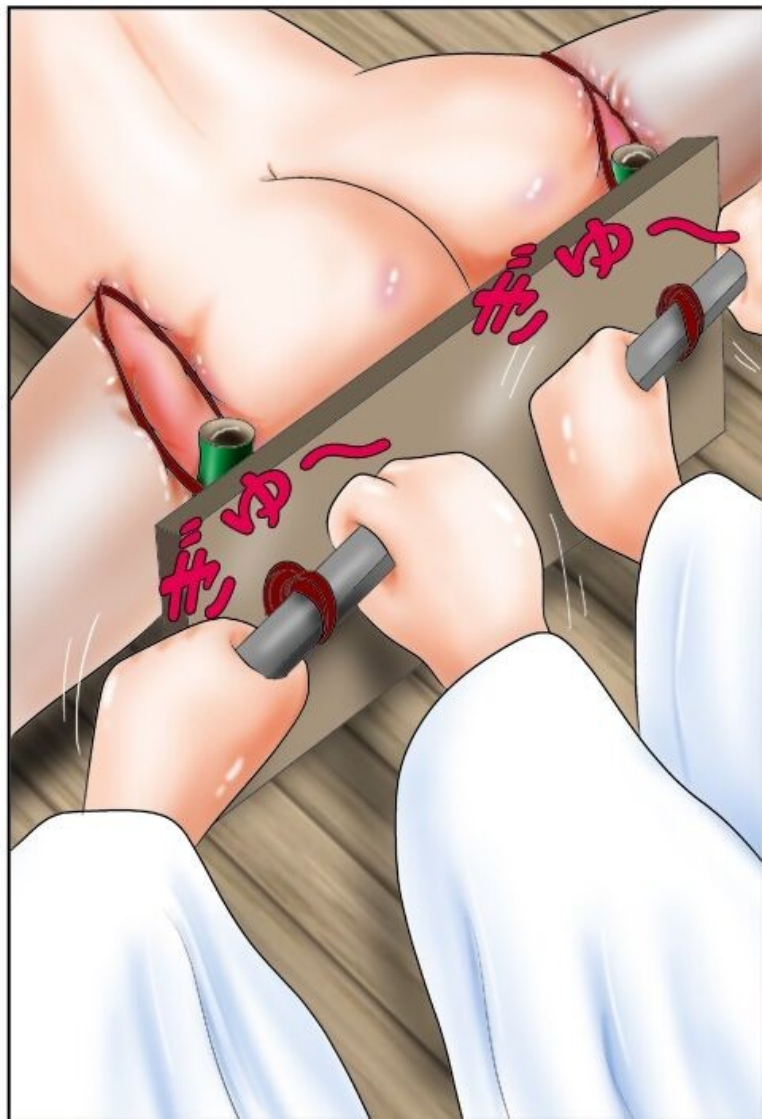
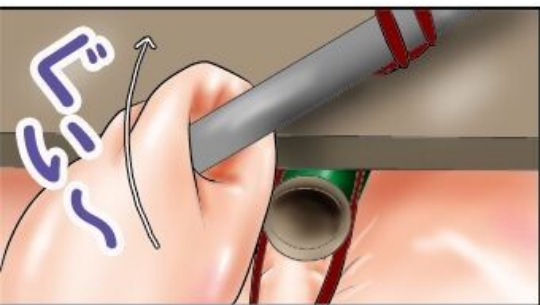


うむ

御腹様おみ脚を...



おみ脚お開き下さいまし





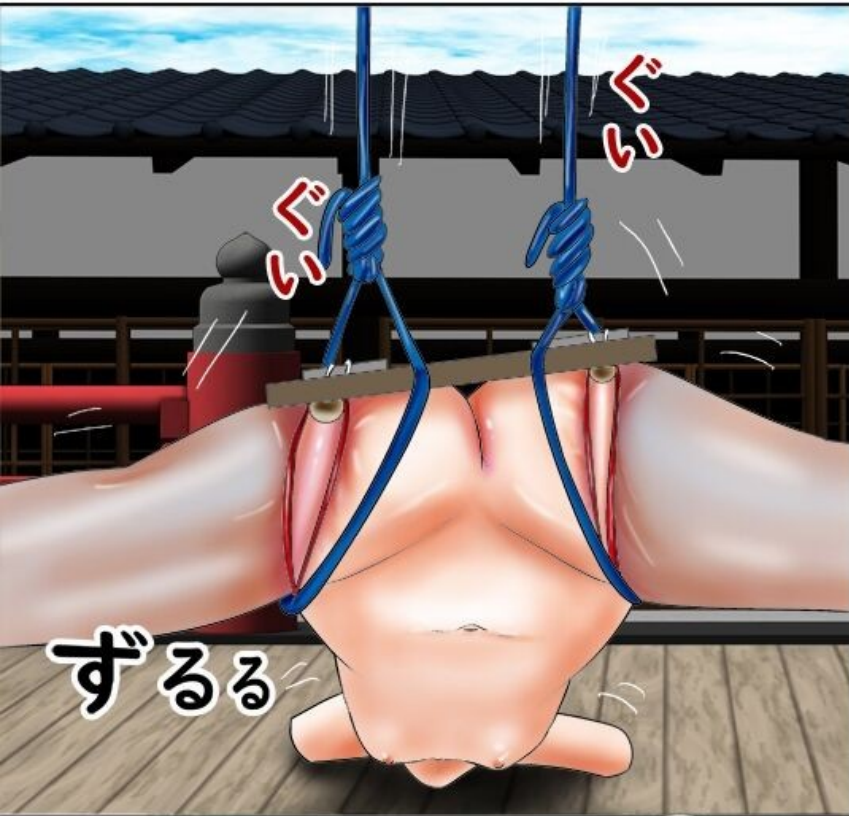
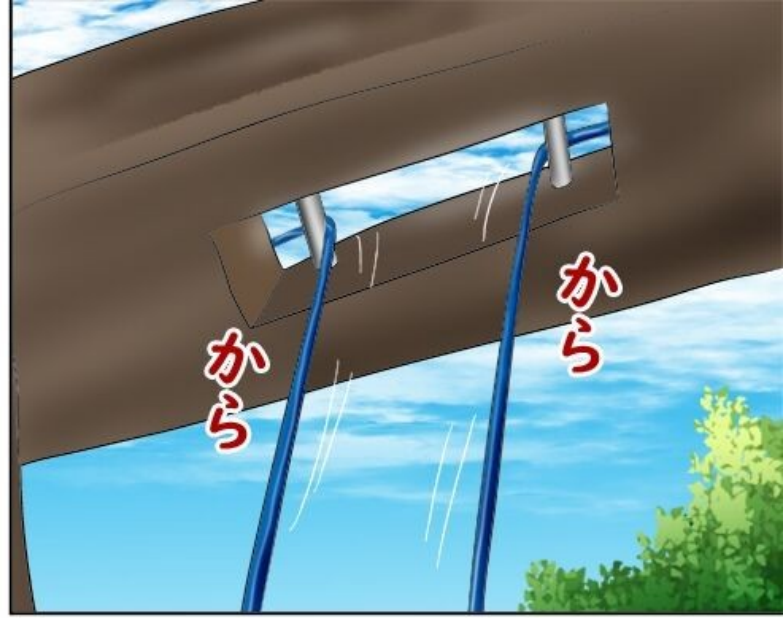
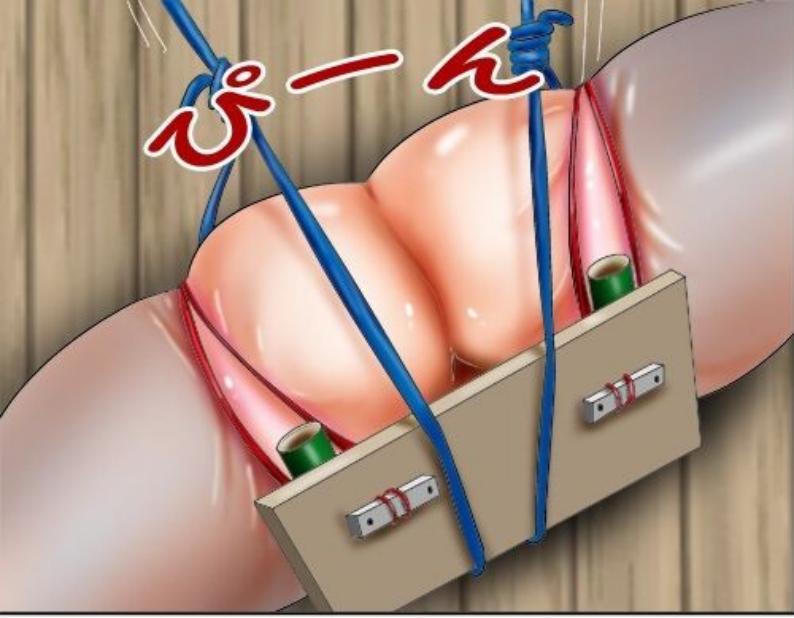
おみ脚捧げ奉る  
吊台ご用意願います



整いまして  
御座います



とび  
ん  
畏まって候





御右足入ります



御左足はいります

両御おみ足納まり  
まして御座います。

御おみ脚龍の大神に捧げ奉るは、御腹の巫女なり

高天原に坐し坐して天と地に御働きを現し給う龍王は大宇宙根元の御祖の御使いにして一切を育て萬物を

ピタッ

カチャ

御支配あらせ給う王神なれば一二三四五六七八九十の十種の御寶を己がすがたと變じ給いし自由自在に天界地界人界を

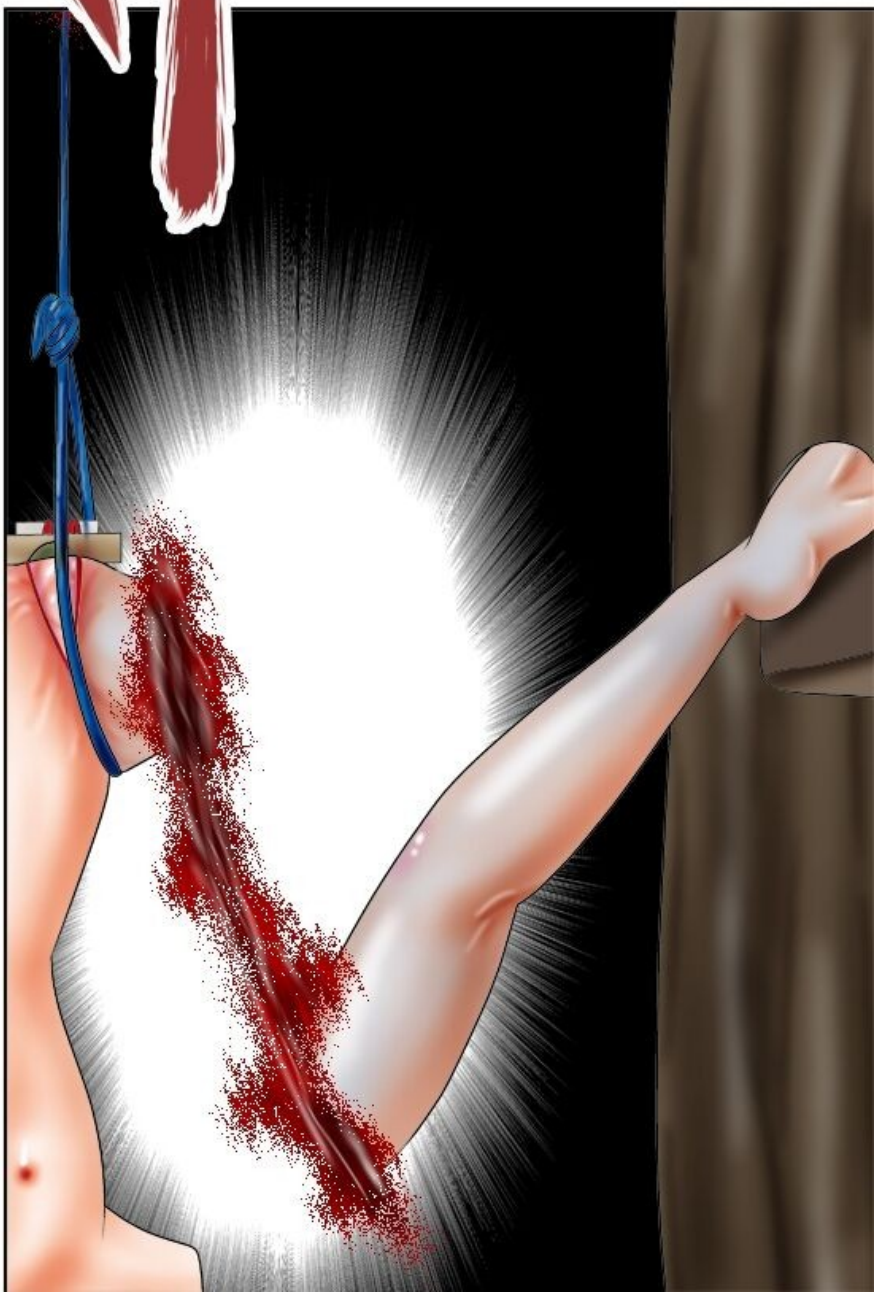
を戒め給いて一切の衆生の罪穢れの衣を脱ぎ去らしめ給いて萬物の病災をも立所に払い清め給い萬世界も御祖のもとに治めせしめ給へと祈願奉ることの

ム  
ア  
ア

治め給う龍王神なるを尊み敬いて眞の六根一筋に御使え申すことの由を受引き給いて愚なる心の數々

由をきこしめして六根のうち念じ申す大願を成就なさしめ給へと恐み恐み白す

いざ約定の巫女の御脚御供龍王神前に捧げ奉る！  
**三の太刀！**





かたや

四の太刀

いざ参る！



ぴゅるる

御左おみ脚御腹の巫女より断ち白す

はあはあ







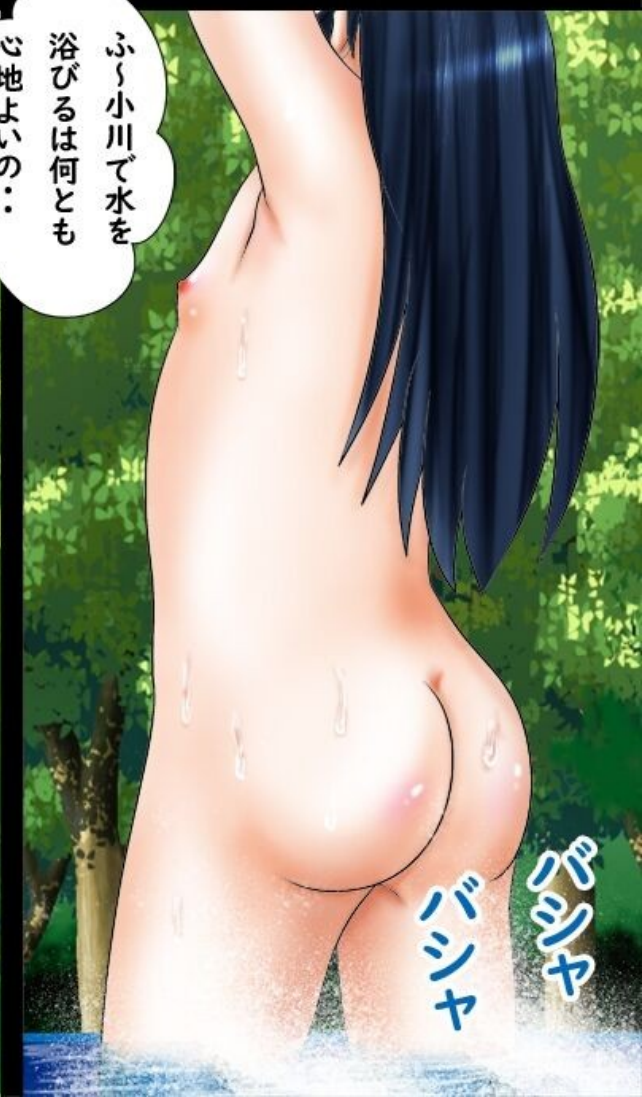
ちやぶちやぶ  
ちやぶちやぶ



チクン  
チクン  
チクンチクン



未だ五月の初めと  
言うに、何とも暑き  
日和のう...



ふく小川で水を  
浴びるは何とも  
心地よいの...

バジヤ  
バジヤ



あ!

ガッ

女の子...



誰かおるのか?



はっ裸の.....

うあ〜ごめん...  
ごめんなさい!



ん?





痛!



失礼しました

?

バツ



おっ女の子の  
あそこ近くで  
初めて見た:



これ童子  
大事無いかえ?

うああ!



あの…何か着て  
貰えませんか:

ドキ

目のやり場が…

ドキ



ええ、この娘恥ずかしくないのかな

なんじゃ  
もう行くのか  
つまらんのう



そっそう・・じゃ  
おいら、もう行くね

そそそそ



私の衣は対岸じゃし  
水浴びの最中であつた  
からの、すぐには着れぬ



痛っ！



こっこんなの  
かつかすり傷だし  
舐めれば治るよ

ほうほう、じゃが  
膝故に舐めにくからう  
我がしてやろうかへ？



これ、童子よ、膝を  
怪我しておるぞ！





エ うわ〜ん ぞ



ほれ、初夏の日差しが  
心地よからう、これならば  
濡れし衣もすぐ乾くであろう



やれ童子よ、何を黄昏て  
おる、もそつと近こつ寄って  
話でもせぬか？

え？



ふう良い日和  
じゃが暑いのもう

もう何なのこの娘



ふふ、我が目上じゃな！  
これから「上の御姉様」と崇  
めるのじゃ！童子よ！

かっかっかっ

せめて名前で  
呼んで下さい

くう 負けた



あのさ

童子童子っておいら今年で十一歳(満)  
だから、君と同じぐらいだと思っけど



我は十二(数え)じゃ  
もうすぐ十三の齡を  
重ねるがの！



ぷんぷん

うわ...

ゴキッ

コレ！声が小さくて聞こえん  
主は言の葉を交わす相手とお面を  
もそつと凜として向かい合わんか  
主は我と交わしておるのだぞ



えわ  
えわ



童子じゃなくて名前で  
呼んで下さい...(ボン)



我か？我に名は無いが  
お役目の名ならあるぞ。  
お役名は「御腹」と言ふ。

姉ちゃんは名前  
何ていうの？

ごめんよねえちゃん：  
おいら童子って呼ばれるのは  
嫌なんだ、たけるって名前で  
呼んで欲しいなって思っ



り

何？主はたけると  
申すか！良い名を  
貰ろうたな。





ええ！お姉ちゃん  
龍神大社の御腹様  
だったの！

おお！タケル知って  
おったか、流石じゃの  
我が御腹じゃ！

いや、御腹様知らない  
里人いないよ・多分。

なるほどそれも  
そうじゃな！



この腹にて贅腹  
孕み次代に繋ぐ・



我はこの四肢をもって龍の  
大神に捧げ奉り里の安泰願う  
は何十代も続く御腹の使命

今年十三の齡にて  
この腕脚供物に捧げ



このようなお役なれば、  
名など始祖を始め賜った  
御腹など聞き及ばぬよ。



あっうん

どれタケルよ我と共に  
みづを浴びて戯れようぞ

じゃが今の内にこの腕脚で  
萬のあたりを覚えとってな



!!

御腹のお姉ちゃん  
股から血が出るよ!



ん?

やれやれ月のものが  
このような時に……





大事なこれは  
月のものでな女子  
ならだれで...



御腹のお姉ちゃん  
大丈夫？痛くない？



初<sup>うぶ</sup>心<sup>ぶ</sup>いのう  
タケルはどれ  
少々戯れて見  
るかの！

主も言っておったが  
舐めれば治るやも  
知れんなクスクス



話...を...聞か  
ん...か...ん  
これ...やめ...  
ん...ん...



うん分かった...  
ひゃああ...これ  
戯れじゃ戯れただけじゃ



姉ちゃん絶対  
治してあげる

んんあっなんぞ  
込み上げて...



やめ・んタケルよ・  
んん何か来るぞ来る  
.....

んんん♡



!! 出来た!!



んんん

んんん

んんん



これタケル止めぬか・  
後生じゃから・やめ・

んんん  
んんん

ひやくタケル・  
タケル! タケル!  
ああああああ



済まぬのタケル月のモノ  
等舐めさせて、あまりさえ  
小水までも・心地違え  
てはおらぬかえ？



えも言われぬ  
心地じゃったわい

はあ

はあ



それそれ！どうじゃ

うああ冷たいやめて  
ねえちゃん冷たいよ！

ミミヤ  
ミミヤ  
ミミヤ



御腹ねえちゃんの  
為だから平気だよ

それは何よりじゃが  
口つきに着いておるぞ

正直生臭かった・

我がこのせせらぎにて  
清めてしんぜよう！



ザバーッ



はあ  
はあ

楽しいのうタケルよ  
我はこのように戯れる  
はうひかうぶりじゃ

はあはあ...やれ  
困じた困じた...



ああそれ知ってる  
上流の川岸に咲い  
てる花だよ

ほうほう

行ってみる？

そうじゃのう  
参ってみよぞ



ん？



はて水面の流れに  
見慣れぬ花が？

これタケルや衣は  
どうする？羽織ら  
ぬのか？

大丈夫この辺は  
誰も来ないから  
それに直ぐそこだし

何ともはや、最初は  
私の肌を恐れていたに  
慣れとは恐ろしゅうも  
のよな…

パシヤ  
パシヤ

おおお～

御腹姉ちゃん  
ほらここだよ！

おお！おお！何ぞやこの  
花園は！未だ見おぼえぬ  
美しゅう花園よ！

我らは桃源郷に迷い出た  
のではあるまいな！

おおなんとも愛らしい花よ、  
何と言う花じゃろうかのう？



御腹姉ちゃん  
そんなに花好き？

ああ、好きじゃ、花は良い  
美しかろう？良い匂いがす  
るじゃろ？心持を癒すであ  
ろう？それに何より、短い  
命ゆえ華々しく燃え尽きる

こ奴らを眺めてい  
るとな、我ら御腹  
の長きに渡る営み  
そのものに見えて  
くるのじゃ、枯れ  
てなお命をつなぐ



始祖より始まりし  
御腹の魂の系図よ  
名は無くともな

御<sup>みたま</sup>霊を繋いで幾年<sup>いくとせ</sup>  
も身体を捧げ続け  
それが我らの宿命ぞ

はっ  
花姉ちゃん

ん？





今何と申した...

花姉ちゃんだよ！  
今日から御腹姉ちゃんは  
花姉ちゃんだ！

オイラが姉ちゃんの  
名前決めた！



我の名...

花...

ひゅ〜



タケルやもう一度  
呼んでおくれ

花姉ちゃん



おおおお！タケルや  
我に名をくれたのか！  
御腹八十一代にして  
初名<sup>ういな</sup>じゃ！

ガバツ

嬉しゆぞ、  
かたじけないぞ



もう一度もう一度  
呼んでたもう...

花姉ちゃん

もう一度...

タケル...  
何処へ参った?

タケルや

我の名を...

花姉ちゃん!

良かったやっとな  
気が付いた!

タケル...

我を一人にするではない  
タケルやせつないではないか

おお! タケル  
そこに居ったか

かきあげ



エッ

花姉ちゃん  
まだ動いちゃ



タケル!



タケル・・えっ?

んんん



あっあははは・・  
四肢の欠落を失念  
しておったわ・・



花姉ちゃん!

バズ

あうっ



何故かのう、四肢を捧げるは  
御腹の使命、生まれ落ちし時  
より覚悟は出来ておったはず  
なのにこの両の腕は主に届かず  
両の脚は主に歩み寄れん虚しい  
のう口惜しいのう・・



うん

主に駆け寄り抱きた  
かった、もう叶わぬ

じゃあ

うん



花姉ちゃん・

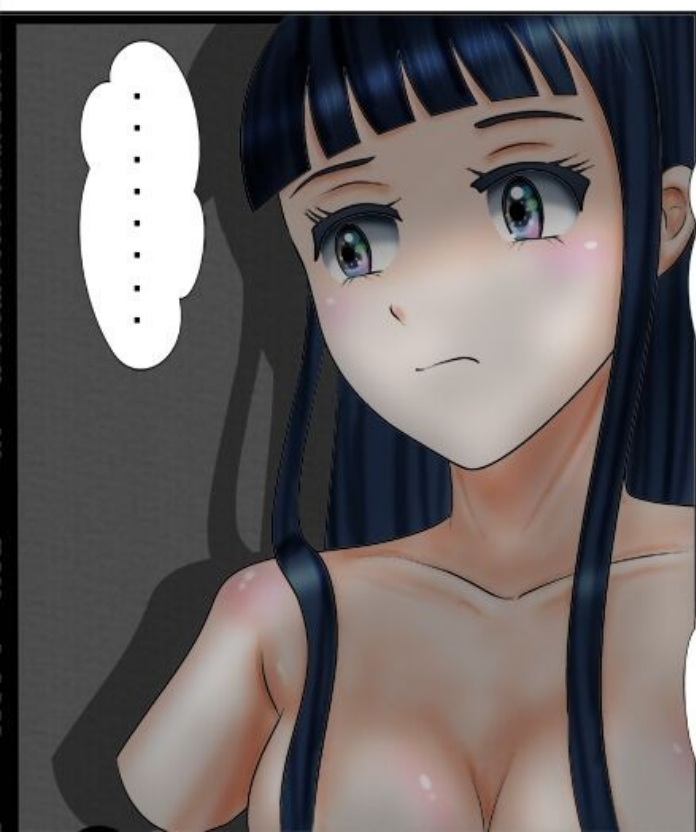
タケルよ、今から  
我は我儘を申す聞  
かずとも良いただ  
願うだけで良い

我は主が思い余る程に  
心乱れるほどに愛おしい



我はこの運命が  
御腹の使命がこれ程  
辛いとは思わなんだ  
我は我は・

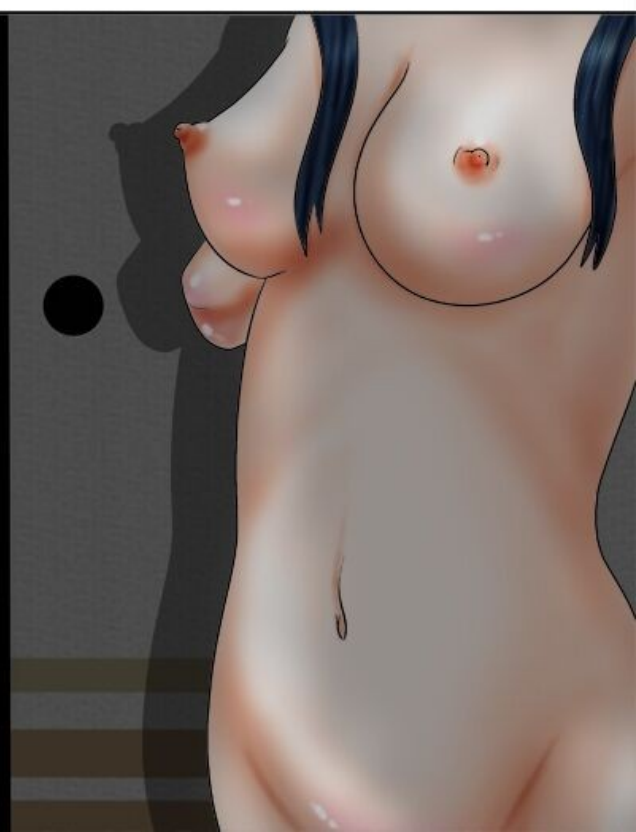
あの花園のあのまま  
に主と微笑んで悠久  
の時を共に過ごした  
かったぞ！



花姉ちゃん

すまぬタケルよ  
もう大事ない・

忘れてたもれ



.....



主の衣は神官の  
衣のようじゃが？

うん、垂乳根様  
が神官に推挙して  
くれたんだ、未だ  
見習いだけど...



花姉ちゃん  
顔が...

んタケルや拭わ  
せてすまぬの。  
すす



おおそうか、それは  
張譲、なればこの先  
逢瀬を重ねずに済むの

うん、おいらも  
何時でも花姉ちゃん  
に会えて嬉しいよ



なんと、  
間が悪い事よ

ぼり  
ぼり  
ぼり



御腹様失礼いたします

タケル殿  
垂乳根様が御呼び  
で御座います



うむ、大儀、そなたは  
下がって御腹を診やれ

畏まりました



垂乳根様タケル殿  
お連れいたしました



はい、まだ二日  
なので良く分から  
ない事が多くて



さてタケルよ  
神官の見習いは  
どうじゃ？



ふむ、まあよい・・・  
今宵そなたを呼んだのは  
我らのこと、未だ知るま  
いと思うてな、少し話を  
してしんぜよう。



そも我らの元は平氏に連なるものでな  
帝のおそばに使え吉凶を占う役割を担っておった



朝廷には元々陰陽を司  
る一族が居ったが我ら  
は時の帝のわたくしの  
物であった、がしかし、  
その立場は危うい物で  
もあった、帝のうちわ  
の者であるから、天子  
様病の床に臥された時  
ある陰陽師が占った所  
身近に帝に対し悪霊を  
降ろす呪術を用いた者  
が居ると言い、殿上人  
の殆どが我ら一族に疑  
念の目を向けてきた。



無論その様な  
恐れ多い行為  
などするはず  
もなかったが  
それ以来世の  
聞こえ悪くな  
り、月を重ね  
る度々我らは  
貶められ、つい  
には清涼殿へ  
の上りを  
断たれ、  
一族郎党  
都を追わ  
れこの地に  
流れ着  
いた。



この地は険しい山岳に覆われてはいるが、  
ひとたび内に入れば野は穏やかで清水も  
豊富我らの祖はここに里を築いたのじゃ。  
そうして百幾十年か平穩に過ごした時  
我らに都より追手がかった、大元の  
平氏が源氏より追われ連なる我ら  
に矛が向かったのじゃ、我らの  
始祖なる双子の姫巫女は龍神  
窟に御隠れの大神に 援けを  
乞うた、龍の大神は双子の巫女に

「我に援け受けるは覚悟を示しその腕脚我に永劫捧げるべし」

と問うた、両巫女は頷き両腕脚を差し  
出した、大神は姉巫女の腕脚をもぎ取  
ると一陣の風になり追手を全て谷底へ  
と落とした。そして再び問うた「腕脚  
失くしたる巫女よ、そなたは子を孕み  
母となりその子吉参の齡の時再び我  
に腕脚供物とする連鎖永劫にながら  
えるは出来ようかさすれば我地を護  
り生けるもの育むがいか」『我の  
腕脚等は失きものでもかまわぬが、  
子に業を背負わすは忍びなし』『な  
らば生まれ出でたる子のありさまに  
妹巫女の御霊移し、妹巫女の子のあ  
りさまに主の御霊を移しこれを宿命  
とするはいかに。』『承って候』  
とむすびし誓約違える時里も人も滅ぶ  
と肝に命じるがよい』と申された。

それ以来姫の肉体は十三年に  
一度腕脚を捧げるために育ち  
次代の肉体を得るために身籠り  
そして魂を子に移すして朽ちる  
綿綿と受け継がれていく  
贅の性よ・・・



我らは人にあらず  
神器を生む道具  
なのじゃ！




花姉ちゃんが道具・・・そんな  
そんな事は無い、姉ちゃんは  
人間だよ、笑うし泣くし・・・  
おいらたちと何も変わらない




そんな・・・







タケルよその思い改めよ  
とは言わぬ、が御腹にい  
らぬ思いを抱かせるな！  
御腹は道具としての己を  
自覚しておる、贅として  
生きる覚悟もある、が  
主がそれを鈍らしておる



妾とて、御腹は可愛い：  
じゃから主との子を孕ませ  
てやった、じゃがの、それは  
贅の定めを逸脱するもので  
はない、しかし御腹の心は揺  
らいでおる…よってタケルよ



主と出会うて御腹は  
変わった、自我を外に  
出すようになった。



主は御斬り役首座清蔭預け  
とする、妾の沙汰あるまで  
御腹に見える事を禁ずる

そんな！



もう三日も顔を  
出さんの・・・

タケル殿で  
御座いますか？

チヨロロロ



ついぞ顔をだす  
様子も無しじゃ・・・

ふふふ



うむ、あれほど日々  
会えるとよろこんで  
おったに・・・



タケルよ何をしておる  
はよう来ぬか切ないで  
はないか・・・

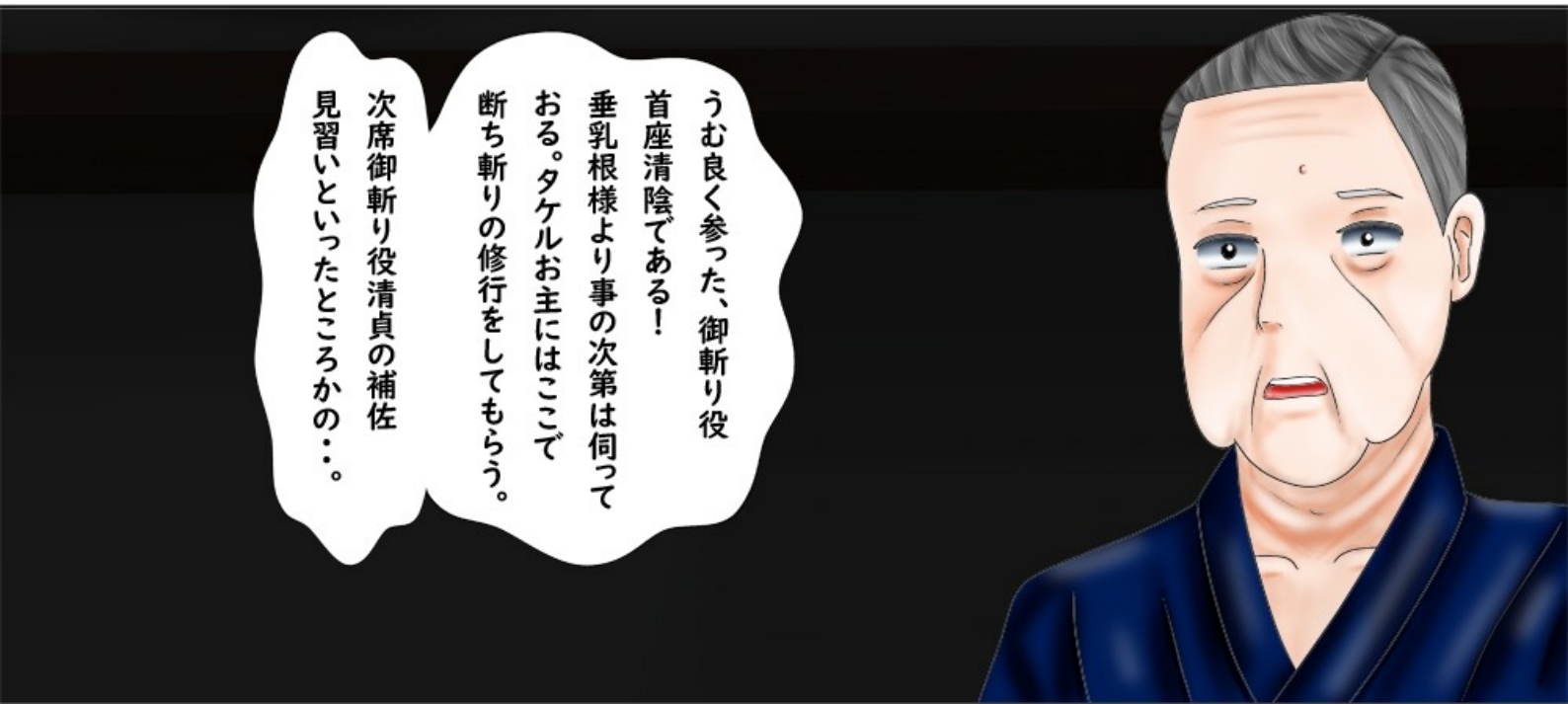
ああ・・・  
そうじゃな・・・



タケル殿は神官の見習い故  
多岐に忙殺されておるのでしょう  
その内ひよいと顔を見せましょう



清陰様預けとなり  
ました平タケルです  
宜しくお願いします



うむ良く参った、御斬り役  
首座清陰である！  
垂乳根様より事の次第は何って  
おる。タケルお主にはここで  
断ち斬りの修行をしてもらう。  
次席御斬り役清貞の補佐  
見習いといったところかの…。



お主には次代の  
御腹様の腕を落とす  
役割が任される



次席御斬り役は  
御腹様の腕を落とす  
役割でな…

え？



そんな事…  
出来る訳…



オイラが花姉  
ちゃんとの子の  
腕を斬る…



このお役目、辞退する事  
は出来ようが、その際は  
お主は他の氏子と同じにて  
御腹様に見える事は許さ  
れぬ…

それよりなにより  
他者が己が子の腕  
斬り落とす事になる

…  
…  
…



すこし、考えさせて  
貰えませんか？…

よからう、来月の贄腹  
の儀、見届けて答えを  
出すが良からう。  
それまで心身の鍛錬  
儂の元でするがよい。

すく



御腹様の様子は  
変わりないかえ？

脚の傷は順調に回復して  
居りますが、お食事を  
お召し上がりにならなず  
難儀しております・・

タケルよ何故来ぬ  
我を一人にせぬで  
くれ、何処に居る

付腹よ、タケルはどうした！何故に  
顔を出さぬ！もう二十日ぞ！タケルに  
会わぬまま贅腹の義我は行いとうない


御腹様失礼い  
たします。

何やらゆうげも  
お召し上がり  
にならなかった様子


ぐんぐん

贅腹の儀にて  
お身体が持ちま  
せぬぞ！


何を御戯れを・・



戯れなるものか！付腹よ、  
我の腹にはすでにタケルの  
贅腹孕んでおるは主も承知  
しておろう！  
何故今更男集にこの身体  
預けねばならぬや？



承知しておる、承知して  
おるが、この肌、他の者  
に触れさせとうない・  
嫌なのじゃ、タケルのぬ  
くもり残りしこの肌預け  
るは・この心ね己でもは  
かり知れぬ……



お言葉なれど、贅腹の儀、氏子集おのこの男にて孕むは  
一族の掟、その主が分らぬ故誰もが己が種と思  
うり様で世を継ぎし御腹を敬い称えるのは御腹様  
も御存じであると承知しておりますれば……



何と！タケルに  
会ひ事叶うや！

何とタケルが  
お斬り役に！  
我が為にか？

ならば御腹様、タケル殿に  
見える事叶えば贅腹の儀、  
耐え忍んで頂く事申し受け  
なりましたようや？



うむむ、承知ぞ  
忍び見るだけで良い  
そうかタケルが

されどタケル殿は御斬り役  
清貞殿の元にて断ち斬りの  
修行にあらせられ、見えて  
言の葉を交わすはおるか姿  
を表すに能わす物の影より  
忍び見る事となりましたよう



では翌朝お迎えに参ります

うむ心待ちに  
しておるぞ♪





おおタケルよタケルよ  
少しばかり会わぬ間に  
遅しくなりおって・・

えいっ!

えいっ!



されど付腹め、この様な  
櫃ひらに押し込めおって身動き  
がままならぬではないか!

えいっ!

えいっ!



我の為にお斬り役の道  
進は真幸甚の至りよな。  
子の腕我の首預けるに  
相応しゅう男おのことなれよ



早朝からの鍛錬、  
精が出るなタケル殿

あつ秀盛さん  
お早う御座います

これこれ兄弟子  
と呼べと言った  
であろう

あっはい  
兄弟子！



えっ！

えっ！



ん？何じやあ奴は・・  
見知らぬ女子ぢやな？



丁度良い処に座れそ  
うな木箱がある、  
少し話でもせんか？

えっ！



何じや仲良さげで  
はないか・・兄弟子  
女子ではないのか？

むっ



以前から主に問いたい事があってな

ほれ立っておらんでここへ座れ座れ

パンパン



あっはい失礼します。

主は御腹様の事どう思っておる？

ギシギシ

え？

うむ



お斬り役は次代の御腹様の腕脚斬る役目

御腹様の事を想っておるなら辛い役割りであるからな

いざその時腕が鈍ることなく両断出来るか少々危ぶんでおる

お主にその覚悟あるやいかに？

おいらは・・・



正直花姉ちゃんとの子供とか  
まだ実感ないけど、人の腕を  
斬り落とすとか考えるだけで  
怖いしおいらに出来るかまだ  
分からない・・・



でもおいらは花姉ちゃん  
が好きで大好きで守り  
たい、その為にお斬り役  
になって花姉ちゃんの傍  
に居たいって思うよ

タケル殿は御腹様を  
愛しておるのだな。



タケル殿のその御気持  
御腹様もきつと喜んで  
おいででしょうね



愛とか良く分からないけど  
この大好きって気持がそう  
なら、凄く愛してると思う

なんか・・・  
照れるね・アハハ



なるほどなるほど我の  
問いは愚問であったな。

くす

タケル・・我の事を  
そこまで想ってくれる  
か、いや知ってお  
った知っておったが  
尚嬉しや嬉しや・・



では、お先に失礼  
タケル殿また後日



失礼いたします  
朝げの用意が整い  
まして御座います



良う御座いま  
したな御腹様・・・

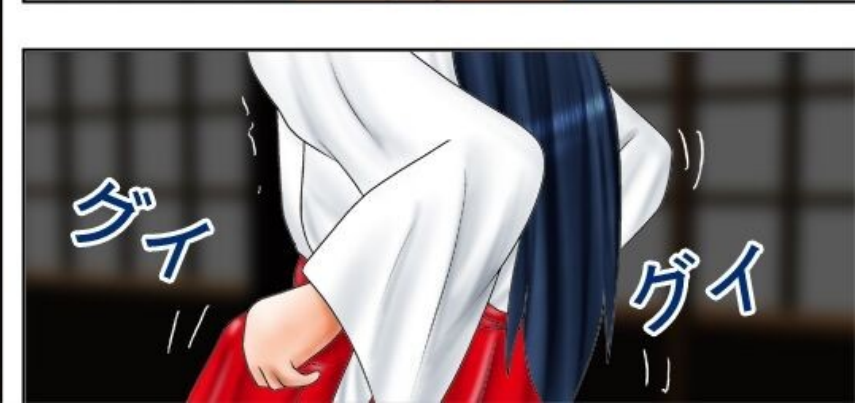
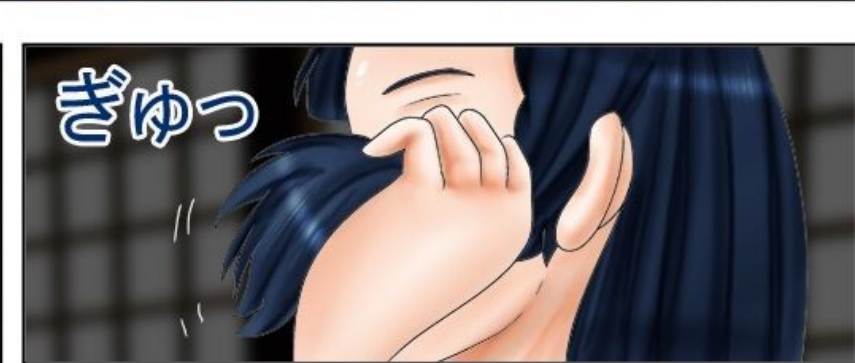
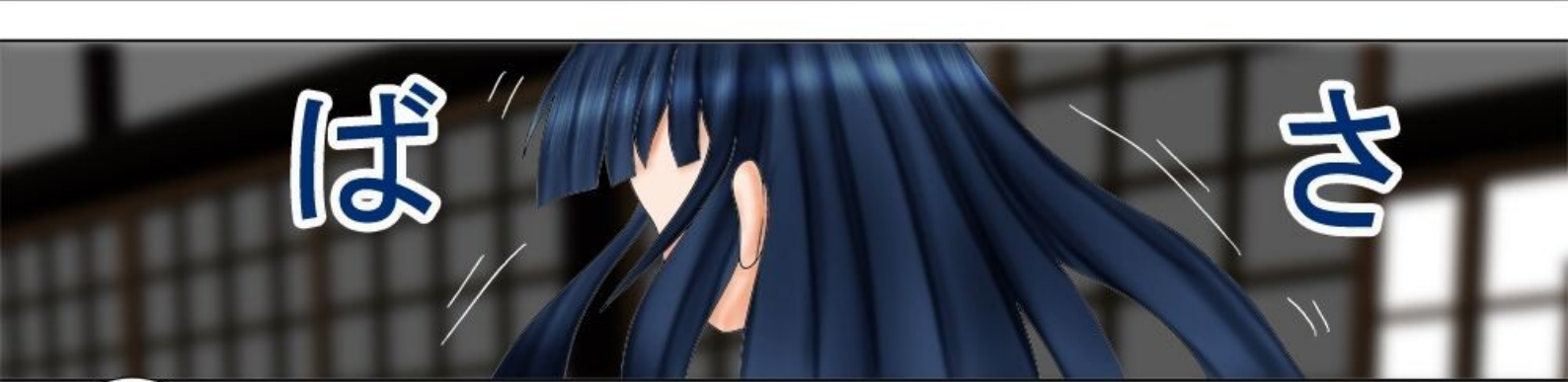
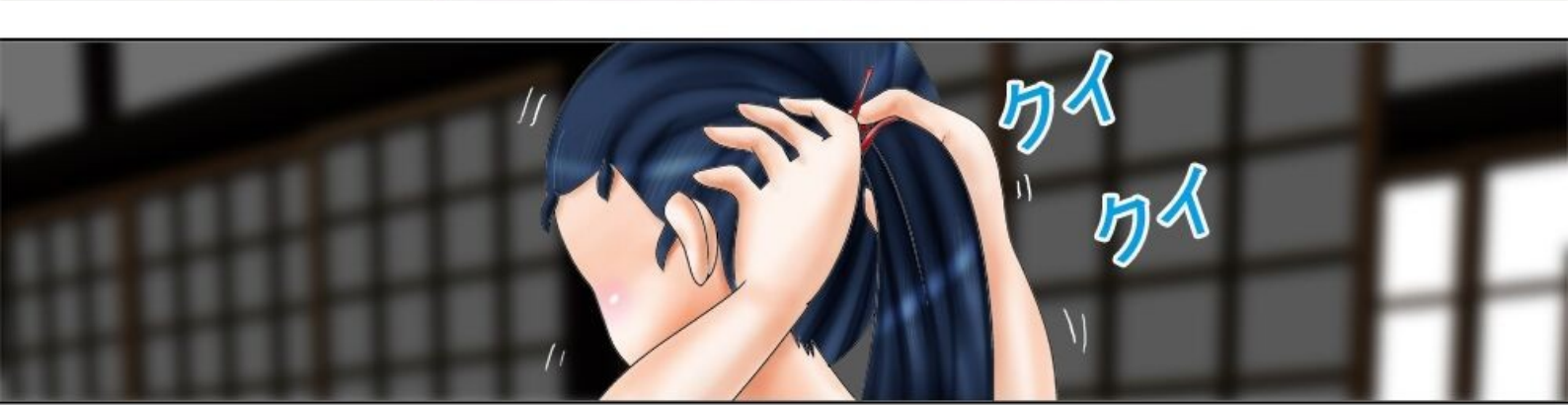
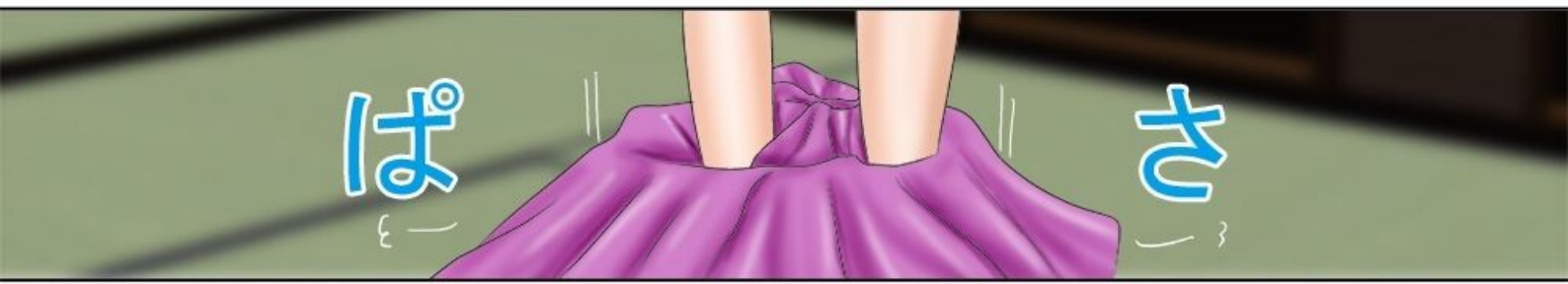


お疲れさまでした  
秀・兄弟子！



御腹様の事  
頼み申したぞ！

はい！



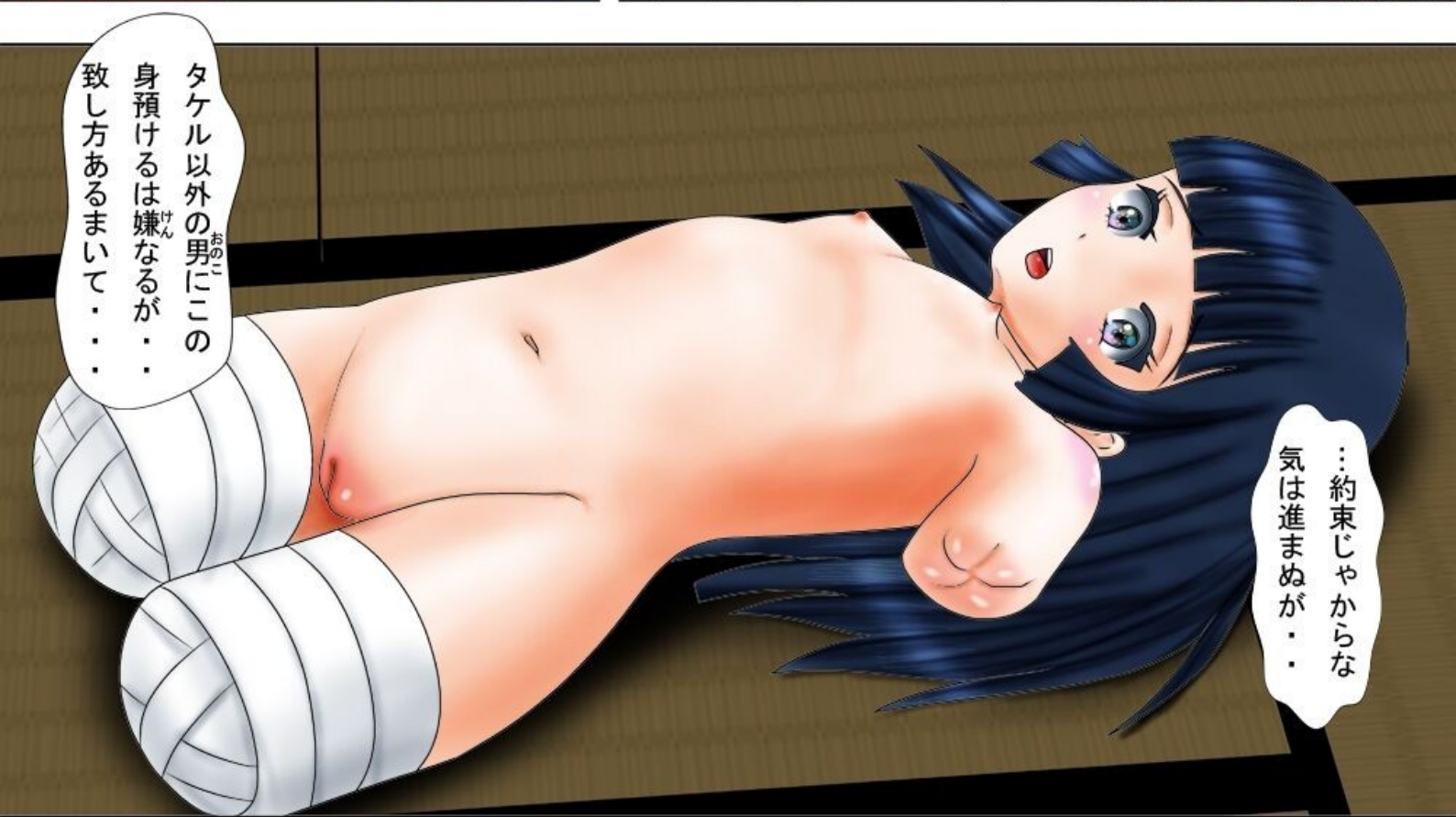


それはようござい  
ました御腹様。

では贅腹の義  
心置きなく行われ  
ましような？



付腹よタケルがのタケルが  
我を好いていると、傍らに  
ずっと居ると言ってくれたぞ

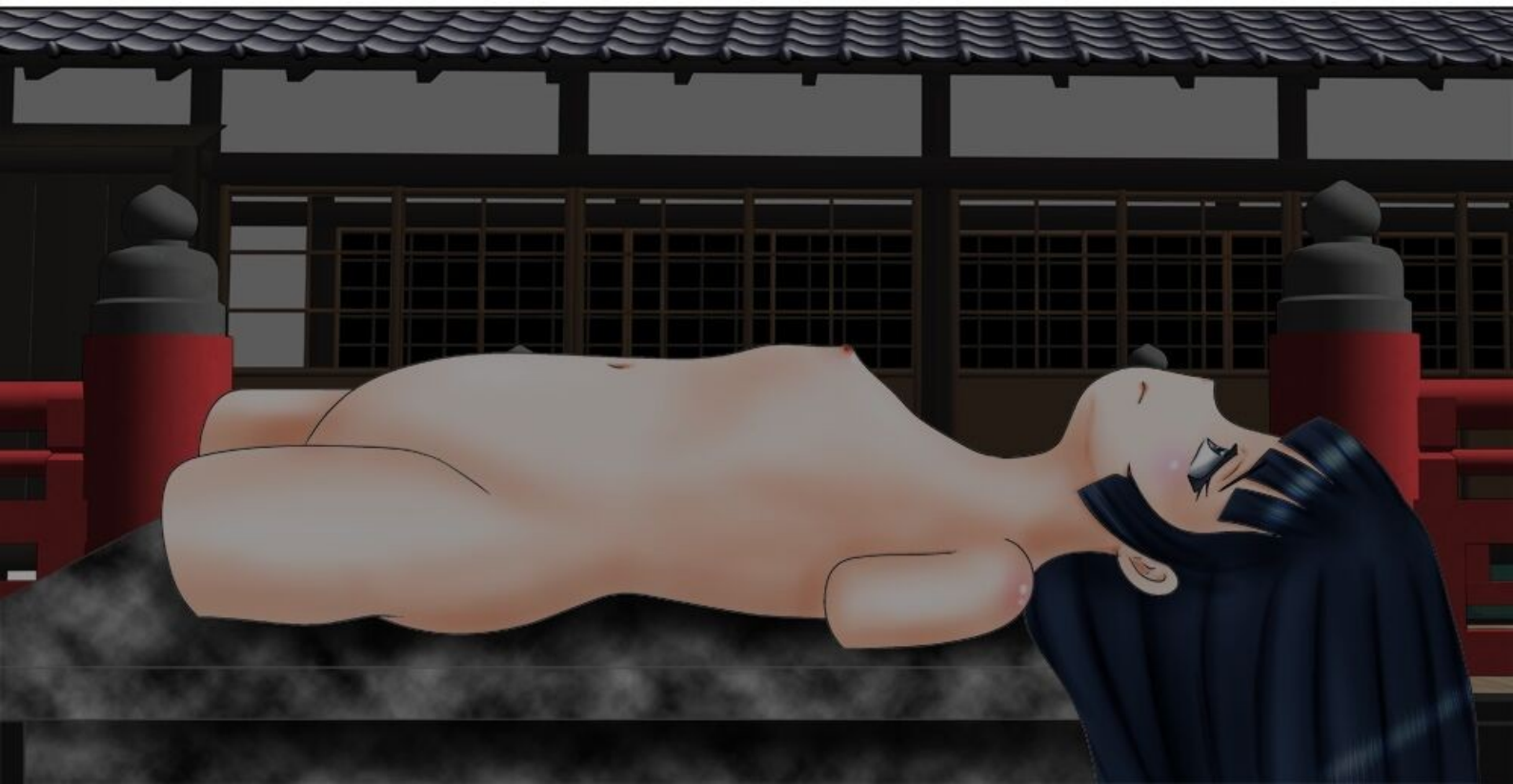


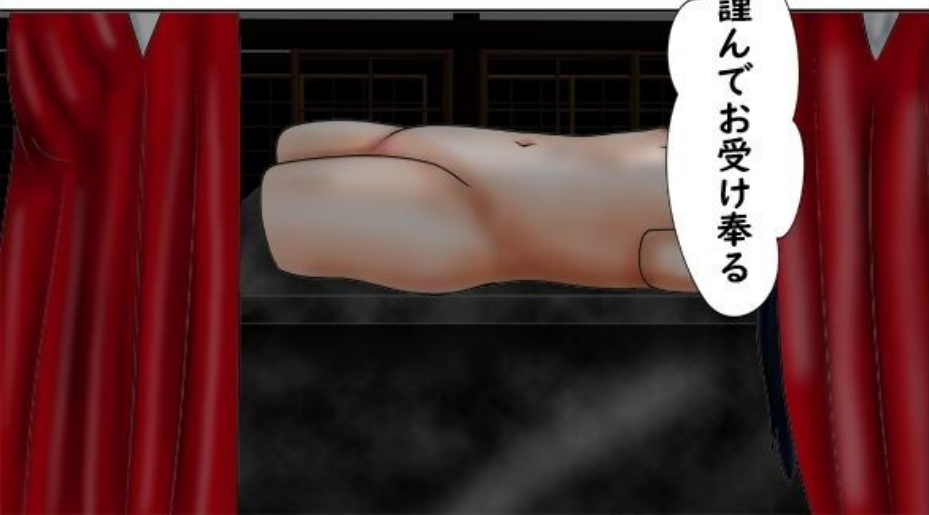
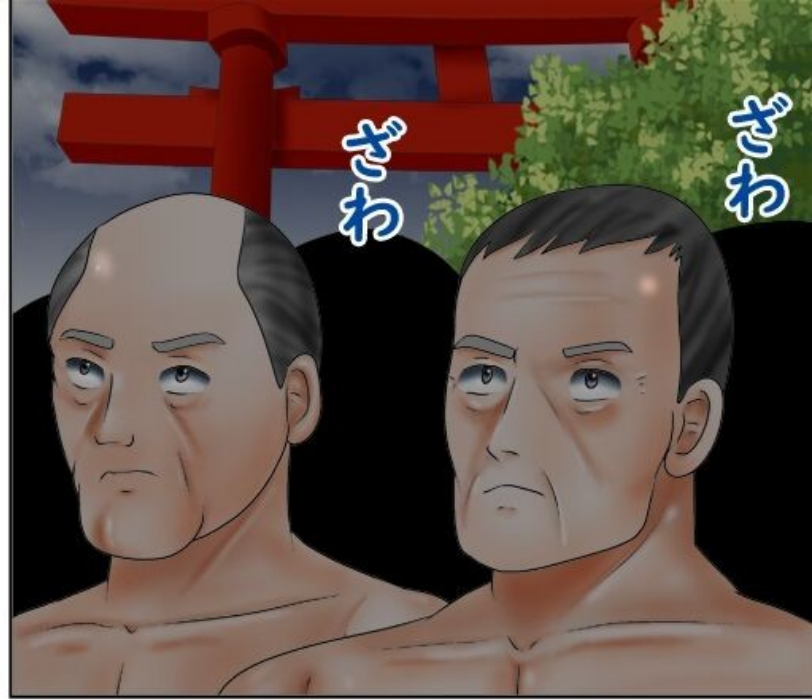
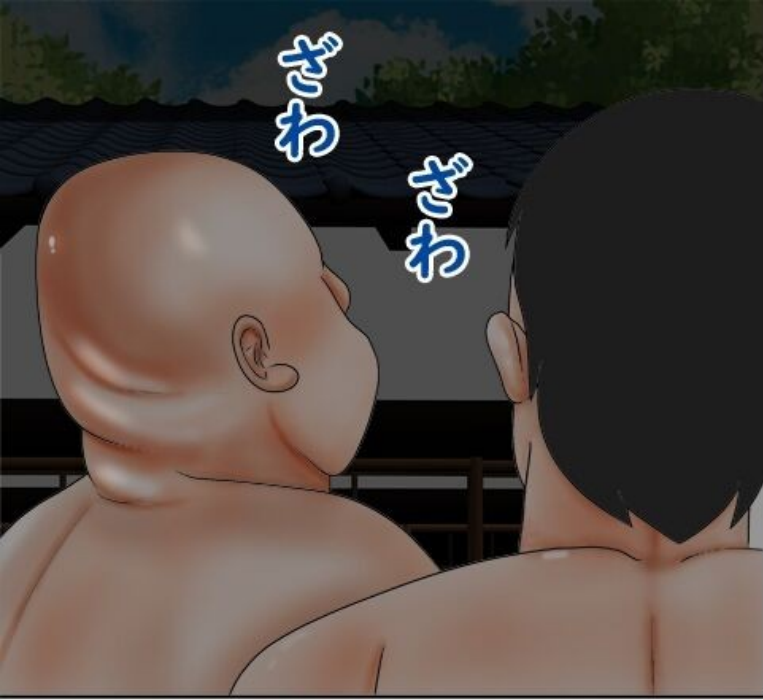
…約束じゃからな  
気は進まぬが…

タケル以外の男おのこにこの  
身預けるは嫌けんなるが…  
致し方あるまいて…

## 贅腹の儀

贅腹の儀







御腹様の乙女花  
御散らし申す

とろろ

二

\*花散らしの儀\*  
贅腹の義の前段で行われる  
神木の張り型にて処女膜を  
破り「ねぶ」と言う秘薬に  
て膣内の感覚を鈍化させて  
絶頂を抑え長時間の挿入に  
耐えられるようにする儀式  
又氏子集の男根による喪失  
ではない為、行為の先と後  
での不公平感を緩和する目  
的もある。



おにへ

ピト

参ります



グ  
ツ  
ツ

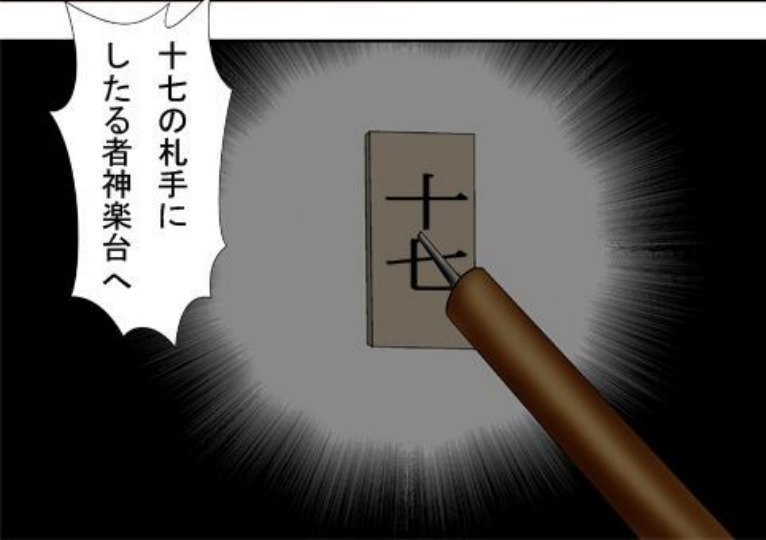
どうか御力のほど  
御抜きに願います



ピロロロ



あ





爺さん大丈夫か？  
ちゃんと起つんだ  
ろうなあ

もう打ち止め  
じゃねえのか(笑)



おほほほ、儂が  
一番槍りじゃな



...

当代御腹様で5人目じゃ！  
今までの御腹様も儂の種で孕  
んだにちげえねえわい、今度も  
孕ませてやっからのうガハハ

自慢じゃねえけど  
儂しやのマラはよ四代の  
御腹様のぼぼに種収めた  
強モノじゃてな！



馬鹿こくもんじゃね  
若けえのにやまだまだ  
儂のマラあ負けんわい

マジがおお〜  
すげ〜

ふんふん



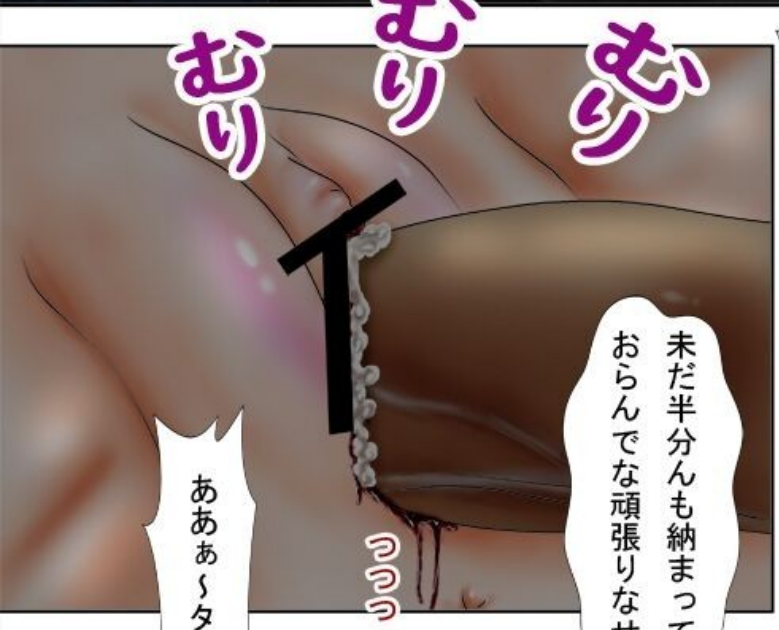


ふくやつと先っぽ  
が入ったわい！  
じゃが難所はこれから  
じゃぞい、がはは

くううくタケルのと  
違う！この様な物・  
我に納まらぬわ・

うううくぐううく  
裂ける裂ける！

もちつとお力を抜きな  
され、奥の院に儂の種  
納めまする故・



むり  
むり  
むり

未だ半分も納まって  
おらんでな頑張りなせ

あああくタケル



ゴウッ



ホー  
ホー



贅腹の儀が見たく  
なくて、参拝口の  
見張りに志願した  
けど・・・やっぱり辛い  
花姉ちゃん・・・



ぬっ

.....



ほれほれ、奥の  
行き止まりを突かれる  
のは気持良からう？  
どうじゃどうじゃ！

やあゝお腹がゝ  
お腹が破れる  
くうあああああ

ボヨ  
ズツチュ  
ズツチュ

